

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-131751

(P 2003-131751 A)

(43) 公開日 平成15年5月9日 (2003. 5. 9)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	7-コード (参考)
G06F 1/00		G06F 17/60	142 5B076
17/60	142		302 E 5C064
	302	H04N 7/173	610 Z
H04N 7/173	610	G06F 9/06	660 A

審査請求 未請求 請求項の数37 O L (全41頁)

(21) 出願番号 特願2002-169658 (P 2002-169658)
(22) 出願日 平成14年6月11日 (2002. 6. 11)
(31) 優先権主張番号 特願2001-175138 (P2001-175138)
(32) 優先日 平成13年6月11日 (2001. 6. 11)
(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地
(72) 発明者 井上 光啓
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内
(72) 発明者 岡本 隆一
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内
(74) 代理人 100109210
弁理士 新居 広守

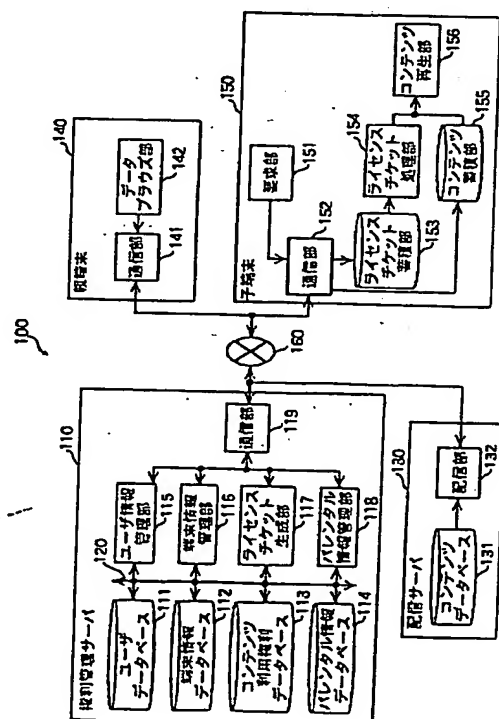
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ライセンス管理サーバ、ライセンス管理システム及び利用制限制御方法

(57) 【要約】

【課題】 子供の成長に即した利用制限を設定できるレンタル制御システムを提供する。

【解決手段】 権利管理サーバ110は、親端末140および子端末150におけるコンテンツの利用を管理するサーバであって、ユーザID203ごとにコンテンツの利用条件を示す権利情報400を記憶するコンテンツ利用権利データベース113と、親端末140から、子端末150によるコンテンツの利用を制限したい旨の指示であるレンタル情報を取得し、レンタル情報データベース114に格納するレンタル情報管理部118と、子端末150からライセンスチケット発行要求を取得すると、対応する権利情報400が示す利用条件に、レンタル情報600が示す制限を加えた利用条件で、前記利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、子端末150に送信するライセンスチケット生成部117とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 端末装置におけるコンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバであって、
端末装置または利用者ごとのコンテンツの利用条件を示すライセンス情報を記憶するライセンス情報記憶手段と、

第1端末装置または第1利用者から、第2端末装置または第2利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の指示と、その制限内容を示す利用制限情報とを取得し、前記利用制限情報を記憶する利用制限情報管理手段と、
前記第2端末装置または前記第2利用者からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報記憶手段に記憶された前記要求された利用に対応する前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に記憶された前記第2端末装置または前記第2利用者に対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2端末装置または前記第2利用者へ送信するチケット発行手段とを備えることを特徴とするライセンス管理サーバ。

【請求項2】 前記チケット発行手段は、前記要求されたコンテンツの利用に対する前記利用条件を示す情報に、前記制限を加えた利用条件を示す情報を付加し、前記制限を加えた利用条件が付加されたライセンスチケットを生成することを特徴とする請求項1記載のライセンス管理サーバ。

【請求項3】 前記チケット発行手段は、前記第2端末装置または前記第2利用者から、前記第2端末装置または前記第2利用者によるコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件で前記コンテンツの利用を許可する旨の情報である第1ライセンスチケットと、前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件を示した第2ライセンスチケットとを第2端末装置または第2利用者へ送信することを特徴とする請求項1記載のライセンス管理サーバ。

【請求項4】 前記利用制限情報は、前記第2端末装置におけるコンテンツの利用に対して課されるべき制限の内容を示し、

前記チケット発行手段は、前記第2端末装置からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、どのコンテンツに対しても、前記ライセンス情報が示す利用条件に、当該第2端末装置に対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2端末装置へ送信することを特徴とする請求項1記載のライセンス管理サーバ。

【請求項5】 前記利用制限情報は、前記第2利用者によるコンテンツの利用に対して課されるべき制限の内容を示し、

前記チケット発行手段は、前記第2利用者からコンテン

ツの利用を要求する旨の指示を取得すると、どのコンテンツに対しても、前記ライセンス情報が示す利用条件に、当該第2利用者に対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2利用者へ送信することを特徴とする請求項1記載のライセンス管理サーバ。

【請求項6】 前記利用制限情報は、前記第2端末装置におけるコンテンツの利用に対して、利用されるコンテンツに応じて課されるべき制限の内容を示し、
前記チケット発行手段は、前記第2端末装置からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記第2端末装置および要求されたコンテンツに対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2端末装置へ送信することを特徴とする請求項1記載のライセンス管理サーバ。

【請求項7】 前記利用制限情報は、前記第2利用者によるコンテンツの利用に対して、利用されるコンテンツに応じて課されるべき制限の内容を示し、
前記チケット発行手段は、前記第2利用者からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記第2利用者および要求されたコンテンツに対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2利用者へ送信することを特徴とする請求項1記載のライセンス管理サーバ。

【請求項8】 前記チケット発行手段は、前記第2端末装置または前記第2利用者から、前記利用制限情報による制限が課されていないコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、その指示に応じないことを特徴とする請求項6または請求項7記載のライセンス管理サーバ。

【請求項9】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第1端末装置または前記第1利用者から、前記第2端末装置または前記第2利用者の利用を停止する旨の指示を取得すると、前記第2端末装置または前記第2利用者の利用を即座に停止させるための利用停止信号を前記第2端末装置または前記第2利用者へ送信する停止手段を備えることを特徴とする請求項1記載のライセンス管理サーバ。

【請求項10】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第1利用者および前記第2利用者に関する個人情報を記憶する個人情報記憶手段を備え、

前記利用制限情報管理手段は、前記個人情報に基づいて、前記第1利用者と前記第2利用者との間に一定の関

係がある場合に、前記第 1 利用者から取得した前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者に対する前記利用制限情報を記憶することを特徴とする請求項 1 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 11】 前記チケット発行手段は、前記第 1 利用者と前記第 2 利用者との間に一定の関係があるにもかかわらず、前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者に対する前記利用制限情報が前記利用制限情報管理手段に記憶されていない場合、前記第 2 端末装置または前記第 2 10 利用者に前記ライセンスチケットを送信しないことを特徴とする請求項 10 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 12】 前記個人情報記憶手段は、前記ライセンス管理サーバからライセンスを購入する際の各利用者の支払方法を特定する支払情報を、前記第 1 端末装置または前記第 1 利用者並びに前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者について管理する支払情報管理手段と、

同一の前記支払情報が登録されている端末装置または利用者のうち、1 つの端末装置または 1 人の利用者が、前記第 1 端末装置または前記第 1 利用者であることを特定 20 するための識別情報の登録を受け付ける識別情報管理手段とを備え、

前記利用制限情報管理手段は、登録された前記識別情報を有する前記第 1 端末装置または前記第 1 利用者からの要求に従って、前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者を登録し、登録された前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者につき、前記利用制限情報を記憶することを特徴とする請求項 10 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 13】 前記第 1 端末装置と前記第 2 端末装置とは、同一の端末装置であることを特徴とする請求項 1 30 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 14】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第 1 利用者から、当該第 1 利用者が使用する前記端末装置の登録要求を受け付けて前記端末装置を登録する端末装置管理手段と、

前記端末装置に対して登録されている前記第 1 利用者からの当該端末装置に対する第 2 利用者の登録要求を受け付け、前記端末装置管理手段に前記第 1 利用者と同一の 40 端末装置に対して前記第 2 利用者を登録する第 2 利用者登録手段とを備え、

前記チケット発行手段は、前記端末装置から、前記第 2 利用者によるコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に記憶された前記端末装置に対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第 2 利用者へ送信することを特徴とする請求項 13 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 15】 前記利用制限情報管理手段は、前記第 50

1 利用者から、前記第 2 利用者による前記端末装置の利用期限を指定した利用制限情報を取得して記憶し、前記ライセンス管理サーバは、前記利用制限情報に指定された利用期限を過ぎると、前記第 2 利用者による前記端末装置からの前記指示を受け付けないことを特徴とする請求項 14 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 16】 前記利用制限情報管理手段は、前記利用制限情報に指定された利用期限を過ぎると、前記端末装置に対する前記第 2 利用者の登録を前記端末装置管理手段から削除し、

前記ライセンス管理サーバは、前記端末装置管理手段に登録されていない前記第 2 利用者による前記端末装置からの前記指示を受け付けないことを特徴とする請求項 15 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 17】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第 1 利用者または前記第 2 利用者を特定し認証するための認証情報の登録を、前記第 1 利用者自身または前記第 2 利用者自身から受け付ける認証情報管理手段と、前記端末装置から前記第 1 利用者または前記第 2 利用者の前記認証情報を取得し、前記認証情報によって特定された前記第 1 利用者または前記第 2 利用者が、前記端末装置に対して登録されているか否かを判定する端末登録判定手段と、

前記端末登録判定手段による判定の結果、登録されていない場合には、当該端末装置からの指示を受け付けない利用制限手段とを備えることを特徴とする請求項 16 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 18】 前記利用制限情報管理手段は、前記第 1 利用者から、前記第 2 利用者が前記ライセンス管理サーバに対し、前記端末装置を用いて指示できる要求の範囲を限定したい旨の指示と、その限定範囲を示した利用制限情報とを取得して、記憶し、

前記ライセンス管理サーバは、前記端末装置から、前記第 2 利用者による前記利用制限情報に示された範囲外の指示を取得しても、当該指示に応じないことを特徴とする請求項 14 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 19】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者によるコンテンツの利用履歴を記憶する履歴記憶手段と、

前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者による過去のコンテンツ利用量が、あらかじめ定めた基準量を超えるか否かを判定する利用量判定手段とを備え、

前記チケット発行手段は、前記利用量判定手段によって前記コンテンツ利用量が前記基準量を超えていると判定された前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者から、前記ライセンス情報が示す利用条件の範囲を超えたコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記利用制限情報が示す制限の範囲内で前記ライセンス情報が示

す利用条件を所定量だけ超えたライセンスチケットを、当該第 2 端末装置または当該第 2 利用者へ送信することを特徴とする請求項 1 記載のライセンス管理サーバ。

【請求項 20】 端末装置におけるコンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバと、前記ライセンス管理サーバに対して、コンテンツの利用を要求する複数の端末装置とからなるライセンス管理システムであって、前記ライセンス管理サーバは、
端末装置または利用者ごとのコンテンツの利用条件を示すライセンス情報を記憶するライセンス情報記憶手段と、

第 1 端末装置または第 1 利用者から、第 2 端末装置または第 2 利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の指示と、その制限内容を示す利用制限情報とを取得し、前記利用制限情報を記憶する利用制限情報管理手段と、前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者から、コンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報記憶手段に記憶された前記要求された利用に対応する前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に記憶された前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者に対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者へ送信するチケット発行手段とを備え、

前記第 1 端末装置は、

前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の前記第 1 利用者の指示である利用制限情報を、前記ライセンス管理サーバへ送信する利用制限情報送信手段を備え、

前記第 2 端末装置は、

第 2 利用者からの要求に基づいて、前記ライセンス管理サーバに対して、前記ライセンスチケットの発行を要求する発行要求手段と、

前記ライセンス管理サーバから、要求した前記コンテンツの利用を、前記制限を加えた利用条件で許可する旨の前記ライセンスチケットを取得する取得手段と、

取得したライセンスチケットに従って、前記コンテンツの利用を行う利用手段とを備えることを特徴とするライセンス管理システム。

【請求項 21】 前記ライセンス管理サーバにおいて、前記チケット発行手段は、前記要求されたコンテンツの利用に対する前記利用条件を示す情報に、前記制限を加えた利用条件を示す情報を付加し、前記制限を加えた利用条件が付加されたライセンスチケットを生成し、

前記第 2 端末装置では、前記利用手段は、取得したライセンスチケットにおいて、前記利用条件を示す項目に記述されている利用条件と、それに対応する所定の項目に記述されている前記制限が加えられた利用条件との論理積を求め、前記論理積である利用条件に従って前記コン

テンツの利用を行うことを特徴とする請求項 20 記載のライセンス管理システム。

【請求項 22】 前記ライセンス管理サーバにおいて、前記チケット発行手段は、前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者から、前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者によるコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件で前記コンテンツの利用を許可する旨の情報である第 1 ライセンスチケットと、前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件を示した第 2 ライセンスチケットとを第 2 端末装置または第 2 利用者へ送信し、

前記第 2 端末装置において、前記取得手段は、前記ライセンス管理サーバから、要求した前記コンテンツの利用を、前記ライセンス情報が示す利用条件で許可する旨の前記第 1 ライセンスチケットと、前記制限を加えた利用条件で許可する旨の前記第 2 ライセンスチケットとを取得し、

前記利用手段は、前記第 1 ライセンスチケットの利用条件と、それに対応する前記第 2 ライセンスチケットの前記制限を加えた利用条件との論理積を求め、前記論理積である利用条件に従って前記コンテンツの利用を行うことを特徴とする請求項 20 記載のライセンス管理システム。

【請求項 23】 前記ライセンス管理サーバにおいて、前記利用制限情報は、前記第 2 端末装置におけるコンテンツの利用に対して課されるべき制限の内容を示し、前記チケット発行手段は、前記第 2 端末装置からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、どのコンテンツに対しても、前記ライセンス情報が示す利用条件に、当該第 2 端末装置に対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第 2 端末装置へ送信するを備えることを特徴とする請求項 20 記載のライセンス管理システム。

【請求項 24】 前記ライセンス管理サーバにおいて、前記利用制限情報は、前記第 2 利用者によるコンテンツの利用に対して課されるべき制限の内容を示し、前記チケット発行手段は、前記第 2 利用者からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、どのコンテンツに対しても、前記ライセンス情報が示す利用条件に、当該第 2 利用者に対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第 2 利用者へ送信することを特徴とする請求項 20 記載のライセンス管理システム。

【請求項 25】 前記ライセンス管理サーバにおいて、前記利用制限情報は、前記第 2 端末装置におけるコンテンツの利用に対して、利用されるコンテンツに応じて課されるべき制限の内容を示し、

前記チケット発行手段は、前記第 2 端末装置からコンテ

コンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記第2端末装置および要求されたコンテンツに対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2端末装置に送信することを特徴とする請求項20記載のライセンス管理システム。

【請求項26】 前記ライセンス管理サーバにおいて、前記利用制限情報は、前記第2利用者によるコンテンツの利用に対して、利用されるコンテンツに応じて課されるべき制限の内容を示し、

前記チケット発行手段は、前記第2利用者からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記第2利用者および要求されたコンテンツに対して前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2利用者へ送信することを特徴とする請求項20記載のライセンス管理システム。

【請求項27】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第1端末装置または前記第1利用者から、前記第2端末装置または前記第2利用者の利用を停止する旨の指示を取得すると、前記第2端末装置または前記第2利用者の利用を即座に停止させるための利用停止信号を前記第2端末装置または前記第2利用者へ送信する停止手段を備え、

前記第2端末装置は、さらに、

前記ライセンス管理サーバから前記利用停止信号を受信すると、前記利用手段の動作を停止する利用停止手段を備えることを特徴とする請求項20記載のライセンス管理システム。

【請求項28】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記ライセンス管理サーバからライセンスを購入する際の各利用者の支払方法を特定する支払情報を、前記第1端末装置または前記第1利用者並びに前記第2端末装置または前記第2利用者について管理する支払情報管理手段と、

同一の前記支払情報が登録されている端末装置または利用者のうち、1つの端末装置または1人の利用者が、前記第1端末装置または前記第1利用者であることを特定するための識別情報の登録を受け付ける識別情報管理手段とを備え、

前記利用制限情報管理手段は、登録された前記識別情報を有する前記第1端末装置または前記第1利用者からの要求に従って、前記第2端末装置または前記第2利用者へ登録し、登録された前記第2端末装置または前記第2利用者につき、前記利用制限情報を記憶することを特徴とする請求項20記載のライセンス管理システム。

【請求項29】 前記ライセンス管理システムにおいて、

前記第1端末装置と前記第2端末装置とは、同一の端末装置であることを特徴とする請求項20記載のライセンス管理システム。

【請求項30】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第1利用者から、当該第1利用者が使用する前記端末装置の登録要求を受け付けて前記端末装置を登録する端末装置管理手段と、

前記端末装置に対して登録されている前記第1利用者からの同一端末装置に対する第2利用者の登録要求を受け付け、前記端末装置管理手段に前記第1利用者と同一の端末装置に対して前記第2利用者を登録する第2利用者登録手段とを備え、

前記利用制限情報管理手段は、前記端末装置または前記第1利用者から、前記端末装置を用いた前記第2利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の指示と、その制限内容を示す利用制限情報とを取得して前記利用制限情報を記憶し、

前記チケット発行手段は、前記端末装置から、前記第2利用者によるコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に記憶された対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成して前記第2利用者へ送信し、

前記端末装置は、さらに、

前記ライセンス管理サーバに対し、当該端末装置に登録されている前記第1利用者からの当該端末装置に対する第2利用者の登録を要求する登録要求手段を備え、

前記利用制限情報送信手段は、当該端末装置を用いた前記第2利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の前記第1利用者からの指示である利用制限情報を、前記ライセンス管理サーバへ送信し、

前記発行要求手段は、第2利用者からの要求に基づいて、前記ライセンス管理サーバに対して、前記ライセンスチケットの発行を要求し、

前記取得手段は、前記ライセンス管理サーバから、要求した前記コンテンツの利用を、前記制限を加えた利用条件で許可する旨の前記ライセンスチケットを取得し、前記利用手段は、取得したライセンスチケットに従って、前記コンテンツの利用を行うことを特徴とする請求項29記載のライセンス管理システム。

【請求項31】 前記ライセンス管理サーバにおいて、前記利用制限情報管理手段は、前記第1利用者から、前記第2利用者による前記端末装置の利用期限を指定した利用制限情報を取得し、前記利用制限情報に指定された利用期限を過ぎると、前記端末装置に対する前記第2利用者の登録を前記端末装置管理手段から抹消し、

前記ライセンス管理サーバは、前記端末装置管理手段に登録されていない前記第 2 利用者による前記端末装置からの指示を受け付けないを備えることを特徴とする請求項 3 0 記載のライセンス管理システム。

【請求項 3 2】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、

前記第 1 利用者または前記第 2 利用者を特定し認証するための認証情報の登録を、前記第 1 利用者自身または前記第 2 利用者自身から受け付ける認証情報管理手段と、前記端末装置から前記第 1 利用者または前記第 2 利用者の前記認証情報を取得し、前記認証情報によって特定された前記第 1 利用者または前記第 2 利用者が、前記端末装置に対して登録されているか否かを判定する端末登録判定手段と、

前記端末登録判定手段による判定の結果、登録されていない場合には、当該端末装置からの指示を受け付けない利用制限手段とを備えることを特徴とする請求項 3 1 記載のライセンス管理システム。

【請求項 3 3】 端末装置におけるコンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバにおける利用制限制御の方法であって、

前記ライセンス管理サーバは、端末装置または利用者ごとのコンテンツの利用条件を示すライセンス情報を記憶するライセンス情報記憶手段を備え、

前記利用制限制御の方法は、

第 1 端末装置または第 1 利用者から、第 2 端末装置または第 2 利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の指示と、その制限内容を示す利用制限情報とを取得し、前記利用制限情報を前記利用制限情報管理手段に格納する利用制限設定ステップと、

前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者から、コンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報記憶手段に記憶された前記要求された利用に対応する前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に格納された前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者に対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第 2 端末装置または前記第 2 利用者へ送信するチケット発行ステップとを含むことを特徴とする利用制限制御方法。

【請求項 3 4】 前記ライセンス管理サーバは、さらに、前記第 1 利用者から、当該第 1 利用者が使用する前記端末装置の登録を受け付けて記憶する端末装置管理手段を備え、

前記利用制限制御方法は、さらに、

前記端末装置に対して登録されている前記第 1 利用者からの同一端末装置に対する第 2 利用者の登録要求を受け付け、前記端末装置管理手段に前記第 1 利用者と同一の端末装置に対して前記第 2 利用者を登録する第 2 利用者登録ステップを含み、

前記チケット発行ステップでは、前記端末装置から、前記第 2 利用者によるコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に記憶された対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第 2 利用者へ送信することを特徴とする請求項 3 3 記載の利用制限制御方法。

【請求項 3 5】 端末装置におけるコンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバにおける利用制限制御のためのプログラムであって、請求項 3 3 および請求項 3 4 記載のステップをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 3 6】 コンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバに対して、コンテンツの利用を要求する端末装置における利用制限制御の方法であって、特定の端末装置または特定の利用者によるコンテンツの利用を制限する旨の情報である利用制限情報を、ライセンス管理サーバへ送信するステップと、

前記特定の端末装置または前記特定の利用者からの要求に基づいて、前記ライセンス管理サーバに対して、一定の利用条件下でコンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットの発行を要求するステップと、前記ライセンス管理サーバから、要求した利用条件に前記利用制限情報に基づく制限が加えられた利用条件下でコンテンツの利用を許可する旨のライセンスチケットを取得するステップと、

取得した前記ライセンスチケットに基づいて、前記コンテンツの利用を行うステップとを含むことを特徴とする利用制限制御方法。

【請求項 3 7】 コンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバに対して、コンテンツの利用を要求する端末装置における利用制限制御のためのプログラムであって、

請求項 3 6 記載のステップをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、端末装置におけるコンテンツの利用をライセンス管理サーバが集中管理するライセンス管理システムに関し、特に、家庭における子供のコンテンツ利用に親が利用制限を設定するパレンタル制御システムおよび一時的に他人の端末装置を使用してコンテンツを利用する、一時ユーザのコンテンツ利用に制限を設定する一時利用制限システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、インターネットなどを通じて、テレビ、ラジオ、ビデオ、CD (Compact Disc)、コミック等のコンテンツが、視聴者の年齢を問わず、一般家庭でもパーソナルコンピュータなどで簡単に視聴できるよ

うなり、これらの映像等において、アダルトシーンや暴力シーンなどが子供の目にとまり易くなっている。これらを視聴する家庭においては、これらが子供の精神的発育に悪影響を及ぼさないよう、映像等に含まれる不適当な部分を、子供たちの目からなるべく遠ざけるような配慮が望まれている。この観点から注目を集めているのが、パレンタル制御システムである。

【0003】従来のコンテンツ配信システムにおいては、ユーザがコンテンツを購入する際に年齢を確認して、未成年のユーザには成人用のコンテンツを販売しないようにしたり、クレジットカードによる購入申し込みの場合は、ユーザを成年とみなしてコンテンツを配信したりしている。また、DVD (Digital Versatile Disc) ビデオの場合は、販売されるDVDディスクに、あらかじめ1～8の数字で表されるパレンタルコードが設定されており、これを再生する再生装置に対し、親はあらかじめ自宅で再生しても差し支えないレベルを示したコードを設定する。再生装置に設定されたコードの値が、DVDディスクのコードの値より小さい場合は、この再生装置でこのディスクの内容を再生することができないように設定されている。例えば、DVDディスクのパレンタルコードが「3」で、再生装置のコードが「2」の場合は、この再生装置では、DVDディスクの内容を再生することができない。この再生装置のコード変更には、4ケタのパスワードが必要で、子供が勝手に変更できないようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のような従来の技術では、あるコンテンツを「再生させる／再生させない」というように制御する場合はほとんどで、そのコンテンツの利用時間を制限したり、利用回数を制限したりという細かな制限を加えることができない。また、DVDビデオのような場合では、暴力シーンであればそのシーンだけカットして再生することも可能であるが、カットされるシーンの選択や、パレンタルコードのレベル設定など、親が個別に条件や制限内容を設定することができず、コンテンツにあらかじめ設定された条件でしか制限を加えることができないという問題点がある。

【0005】本発明はかかる問題点に鑑みて、各家庭の親が、コンテンツを利用する子供ごとに、より多面的な方法を用いて、子供の成長に即した利用制限を設定できるライセンス管理システムおよび利用制限制御方法等を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明のライセンス管理サーバは、端末装置におけるコンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバであって、端末装置または利用者ごとのコンテンツの利用条件を示すライセンス情報を記憶するライセンス情報記憶手段と、第1端末装置また

は第1利用者から、第2端末装置または第2利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の指示と、その制限内容を示す利用制限情報とを取得し、前記利用制限情報を記憶する利用制限情報管理手段と、前記第2端末装置または前記第2利用者からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報記憶手段に記憶された前記要求された利用に対応する前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に記憶された前記第2端末装置または前記第2利用者に対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2端末装置または前記第2利用者へ送信するチケット発行手段とを備えることを特徴とする。また、本発明の他のライセンス管理サーバは、前記第1端末装置と前記第2端末装置とは、同一の端末装置であることを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】（実施の形態1）以下、本発明の第1の実施形態について図面を用いて詳細に説明する。

図1は、本発明の第1の実施形態に係るパレンタル制御システム100の構成を示すブロック図である。パレンタル制御システム100は、音楽、映像、ゲーム、書籍、印刷物およびそれらの複合物などからなるコンテンツのライセンス使用許諾を権利管理サーバが集中管理するライセンス管理システムNet DRM (Digital Rights Management) を適用したコンテンツ配信システム

（以下、Net DRMコンテンツ配信システムと呼称する）において、権利管理サーバが、子供たちに配信されるコンテンツの利用範囲に、その親であるユーザの要求に応じて制限を加え、子供たちの精神的育成に害を及ぼさないようにすることによって実現されるシステムであって、権利管理サーバ110、配信サーバ130、親端末140、子端末150および通信ネットワーク160から構成される。ここで、親端末140とは親が専ら使用する端末のことである。通信ネットワーク160は、ブロードバンド高速公衆回線ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line access system) およびSSL (Secure Sockets Layer) などにより、インターネットなどを介して配信サーバ130、権利管理サーバ110、親端末140および子端末150を相互に高速かつセキュアに接続する。

【0008】権利管理サーバ110は、ユーザによるコンテンツの利用を可能にする情報であるライセンスチケットを、ユーザからのライセンスチケット発行要求に応じて発行するサーバであって、子供ユーザからのライセンスチケット発行要求に対して、親の要求に応じて設定された利用制限をライセンスチケットに付加して発行するコンピュータシステムである。ライセンスチケットとは、コンテンツを購入したユーザからのライセンスチケ

ット発行要求に対して発行され、主として、コンテンツの暗号を復号するコンテンツ鍵と、ユーザがすでに購入したコンテンツ利用権の範囲内で、利用の都度要求された分のコンテンツの利用を許可するコンテンツ利用条件とからなる情報である。また、ライセンスチケット発行要求とは、前記ライセンスチケットの発行を要求するコマンドであって、ライセンスチケット発行要求には、通常、要求元である端末の端末IDと、当該端末のユーザが再生を希望するコンテンツのコンテンツIDと、そのコンテンツをどのぐらい利用したいかという希望利用条件とが含まれる。この権利管理サーバ110は、大きく分けて、ハードディスクなどからなる4つのデータベース（ユーザデータベース111、端末情報データベース112、コンテンツ利用権利データベース113、パレンタル情報データベース114）と、プログラムなどによって実現される5つの処理部（ユーザ情報管理部115、端末情報管理部116、ライセンスチケット生成部117、パレンタル情報管理部118、通信部119）とを備える。

【0009】ユーザデータベース111は、パレンタル制御システム100のユーザごとに、そのユーザの個人情報情報を記憶している。端末情報データベース112は、権利管理サーバ110に登録されている端末ごとに、当該端末を使用するユーザおよび当該端末に関する情報などを示す端末情報を記憶している。コンテンツ利用権利データベース113は、大きく分けて、Net DRMコンテンツ配信システムにおけるコンテンツのライセンスを表した権利情報と、コンテンツ鍵とを記憶している。権利情報は、コンテンツ利用権を購入したユーザごとに作成されており、さらに、あらかじめ定められたコンテンツのグループごとに前記各ユーザのコンテンツの利用条件が記述された情報である。また、コンテンツ鍵は、配信時に暗号化されている各コンテンツを復号化するための復号鍵である。パレンタル情報データベース114は、当該パレンタル情報データベース114内にあらかじめ登録されている子端末150ごとに、その親が子供ユーザのコンテンツの利用に対して設定要求した利用制限を示すパレンタル情報を記憶する。ユーザ情報管理部115は、パレンタル端末登録処理およびパレンタル利用制限設定処理において、前記各要求に含まれる親の認証用ユーザIDとパスワードとを用いてユーザ情報を検索し、この認証用ユーザIDとパスワードとが記述されているユーザ情報がユーザデータベース111内にあるか否かを調べ、あれば、そのユーザが正当な権利を有するユーザであると認証する。さらに、パレンタル端末登録要求に添付された端末IDに対応付けられている子供ユーザのクレジットカード番号と、認証用ユーザIDとパスワードとが記述されている親ユーザのユーザ情報内のクレジットカード番号とを照合して、親子関係の確認を行う。また、通常時には、ユーザ情報管理部115

は、ユーザがコンテンツの利用権利を購入する際に入力した個人情報情報をユーザデータベース111に登録し、登録されているユーザ情報に情報を追加、変更および削除してユーザ情報を更新し管理する。端末情報管理部116は、通信部119においてパレンタル端末登録要求以外の各種要求が受信された際には、受信された要求に添付されている端末IDを用いて端末情報データベース112内の端末情報を検索し、当該端末のユーザを特定する。また、端末情報管理部116は、ユーザがコンテンツの利用権利を購入する際に入力した、または、当該ユーザの端末から読み出されて直接、送信されてきた端末に関する情報を端末情報データベース112に登録し、登録されている端末情報に情報を追加、変更および削除して端末情報を管理する。

【0010】ライセンスチケット生成部117は、端末からのライセンスチケット発行要求に対して、ライセンスチケット発行要求に添付されている要求元の端末IDをパレンタル情報管理部118に通知し、要求元の端末IDをキーとしてパレンタル情報データベース114を検索させる。パレンタル情報管理部118による検索の結果、要求元の端末がパレンタル情報データベース114に登録されていないとみれば、パレンタル制御を受けない端末からの要求であるとみなし、端末情報管理部116によって特定されたユーザのユーザIDから、コンテンツ利用権利データベース113に格納されているそのユーザの権利情報を検索し、要求されたコンテンツのコンテンツIDに対応するコンテンツ利用条件を読み出す。さらに、読み出されたコンテンツ利用条件から今回要求された利用分を減算してコンテンツ利用条件の残量を計算し、計算結果を用いて当該権利情報を更新する。次いで、今回の要求分に対応するコンテンツ利用条件と配信サーバ130から受け取ったコンテンツ鍵とを書き込んだライセンスチケットを生成し、ライセンスチケットの送信先を示す端末IDを添付した上、通信部119を介して送信する。

【0011】一方、ライセンスチケット発行要求の要求元がパレンタル情報データベース114に登録されている端末であれば、ライセンスチケット生成部117は、この端末をパレンタル制御下にある子端末150とみなす。ここで、ライセンスチケット生成部117が、パレンタル制御下でない端末に対してライセンスチケットを発行する場合と異なる点は、今回の要求分に対応する当該コンテンツのコンテンツ利用条件に、パレンタル情報管理部118から受け渡された利用制限を付加して新たに子供用のコンテンツ利用条件を生成することである。そうした上で、子供用のコンテンツ利用条件にコンテンツ鍵を添付した子供用ライセンスチケットを生成する。次いで、ライセンスチケット生成部117は、生成した子供用ライセンスチケットを、宛て先である子端末150の端末IDに、通信部119を介して送信する。さら

に、ライセンスチケット生成部 1 1 7 は、上記のほか
に、バレンタル設定要求以外の各端末からの権利に関す
る各種要求に対応した処理を行う。例えば、端末からの
権利購入要求に応じて、課金処理をしたり、コンテンツ
利用権利データベース 1 1 3 内の権利情報に情報を追
加、変更および削除したりするなど、権利情報の更新処
理を行う。

【 0 0 1 2 】バレンタル情報管理部 1 1 8 は、親ユーザ
からのバレンタル子端末登録要求に応じて、バレンタル
制御下におかれるべき端末の端末 I D をバレンタル情報
データベース 1 1 4 に登録する。具体的には、ユーザ情
報管理部 1 1 5 によって認証された親ユーザについてのみ、
子端末登録要求に添付されている要求元端末の端末
I D をバレンタル情報データベース 1 1 4 に登録する。
ただし、バレンタル情報データベース 1 1 4 に登録され
る対象となるのは、その親ユーザと同じクレジットカード
番号で支払いを行うよう設定されている子供ユーザの
子端末 1 5 0 に限定される。また、バレンタル情報管理
部 1 1 8 は、親端末 1 4 0 からのバレンタル設定要求に
応じて、登録されている子端末 1 5 0 につき、バレンタル
情報を新規作成または変更し、親端末 1 4 0 からのバ
レンタル解除要求に応じてこれを削除し、バレンタル情
報データベース 1 1 4 内のバレンタル情報を更新する。

【 0 0 1 3 】さらに、上記のほか、バレンタル情報管理
部 1 1 8 は、ライセンスチケット生成部 1 1 7 がライ
センスチケット発行要求を受けた場合、ライセンスチケ
ット生成部 1 1 7 から受け渡された端末 I D を用いてバ
レンタル情報データベース 1 1 4 を検索し、検索結果で
ある子端末 1 5 0 の登録の有無をライセンスチケット生
成部 1 1 7 に通知する。さらに、ライセンスチケット生
成部 1 1 7 から受け渡された端末 I D が登録されている
場合、ユーザ情報管理部 1 1 5 によって特定された子端
末 1 5 0 のユーザ I D と、ライセンスチケット生成部 1
1 7 から受け渡されたコンテンツ I D とに基づいて、バ
レンタル情報データベース 1 1 4 のバレンタル情報の中
から、その子端末 1 5 0 のユーザに対してあらかじめ設
定されている利用制限を読み出し、読み出した利用制限
をライセンスチケット生成部 1 1 7 に受け渡す。

【 0 0 1 4 】通信部 1 1 9 は、親端末 1 4 0 または子端
末 1 5 0 からのライセンスチケット発行要求、バレンタル
設定要求およびその他の要求を受信するとともに、ライ
センスチケット発行要求に応じてライセンスチケット
生成部 1 1 7 によって生成されたライセンスチケットま
たは子供用ライセンスチケットを要求元の親端末 1 4 0
または子端末 1 5 0 に返信する。バス 1 2 0 は、権利管
理サーバ 1 1 0 内の各部間でパラレルデータを高速にやり
取りするための内部バスである。

【 0 0 1 5 】配信サーバ 1 3 0 は、コンテンツ製作会社
から受け取ったコンテンツを暗号化して保持し、暗号化
に用いた暗号鍵を権利管理サーバ 1 1 0 に送信しておく

とともに、暗号化されたコンテンツを、ユーザからのコ
ンテンツ配信要求に応じて配信する。例えば放送局また
はインターネット上のウェブサイトなどのコンピュータ
システムであって、コンテンツデータベース 1 3 1 と配
信部 1 3 2 とから構成される。コンテンツ配信要求と
は、家庭の端末（親端末 1 4 0 と子端末 1 5 0）から配
信サーバ 1 3 0 に対して、ユーザが希望するコンテンツ
の配信を要求するコマンドであって、主として、要求元
である端末の端末 I D またはインターネットアドレス
と、要求するコンテンツのコンテンツ I D とが含まれ
る。コンテンツデータベース 1 3 1 は、あらかじめ暗号
化されたコンテンツを記憶しているハードディスクなど
の記憶領域である。配信部 1 3 2 は、プログラムなどによ
って実現され、通信機能を備える処理部であって、親
端末 1 4 0 および子端末 1 5 0 から要求されたコンテン
ツをコンテンツデータベース 1 3 1 から読み出して、読
み出したコンテンツを、インターネットなどの通信ネッ
トワーク 1 6 0 を介して要求元の親端末 1 4 0 または子
端末 1 5 0 に配信する。

【 0 0 1 6 】家庭の端末は、親端末 1 4 0 と子端末 1 5
0 とから構成され、それぞれがブロードバンド高速公衆
回線 A D S L などの通信ネットワーク 1 6 0 を介して権
利管理サーバ 1 1 0 および配信サーバ 1 3 0 と接続され
ている。

【 0 0 1 7 】親端末 1 4 0 は、本バレンタル制御シス
テム 1 0 0 において登録ユーザである親が家庭内で専ら使
用する端末であり、通信ネットワーク 1 6 0 に接続され
たパーソナルコンピュータや N e t D R M コンテンツ配
信システムの専用端末などであって、親が自分の子供の
各子端末 1 5 0 に対する利用制限を権利管理サーバ 1 1
0 に設定要求するために使用される。親端末 1 4 0 は、
大きく分けて、プログラムなどによって実現される 2 つ
の処理部（通信部 1 4 1 およびデータブラウズ部 1 4
2）から構成され、内部に、ハードディスクなどによっ
て実現される図示しない記憶部を備える。

【 0 0 1 8 】通信部 1 4 1 は、その家庭の親によって親
端末 1 4 0 に入力されたバレンタル設定要求を権利管理
サーバ 1 1 0 に送信する。データブラウズ部 1 4 2 は、
親端末 1 4 0 のハードディスク内に格納されている N e
t D R M 接続専用ソフトによって実現される処理部であ
って、親端末 1 4 0 の図示しない液晶表示パネルなどに
N e t D R M コンテンツ配信システムの初期画面である
メニュー画面を表示し、表示されたメニュー画面へのユ
ーザの入力に応じて、バレンタル利用制限設定要求など
の各種要求に応じた入力画面を、権利管理サーバ 1 1 0
から対話的に受信し、受信した入力画面をユーザに表示
するとともに、その表示画面への入力データから成る親
端末 1 4 0 からの各種要求を、通信部 1 4 1 を介して権
利管理サーバ 1 1 0 に送信する。さらに、内部に保持し
ている N e t D R M コンテンツ再生専用ソフトにより、

子端末 150 と同様、権利管理サーバ 110 から発行を受けたライセンスチケットのコンテンツ利用条件に忠実に従ってコンテンツを再生する。

【0019】子端末 150 は、家庭において専ら子供が使用するコンテンツ再生専用端末であって、通信ネットワーク 160 に接続されているので、子供ユーザは単独で配信サーバ 130 からコンテンツの配信を受けたり、権利管理サーバ 110 から権利を購入したりできるが、パレンタル情報データベース 114 に登録されている子端末 150 は、親によって設けられた利用制限に従う子供用ライセンスチケットのコンテンツ利用条件に忠実に従ってコンテンツを再生する。このような子端末 150 は、大きく分けて、ハードディスクなどによって実現される 2 つの蓄積部（ライセンスチケット蓄積部 153、コンテンツ蓄積部 155）と、プログラムなどによって実現される 4 つの処理部（要求部 151、通信部 152、ライセンスチケット処理部 154、コンテンツ再生部 156）とから構成される。

【0020】要求部 151 は、図示しないコントローラなどの入力操作部に接続され、入力操作部からの入力に従って、通信ネットワーク 160 を介して権利管理サーバ 110 にアクセスし、あらかじめ内部に記憶しているメニュー画面をユーザに表示して、その表示画面へのユーザの入力を受け付け、受け付けた入力データから成る子端末 150 の各種要求を通信部 152 に送信する。通信部 152 は、要求部 151 によって作成されたライセンスチケット発行要求またはコンテンツ配信要求などを権利管理サーバ 110 または配信サーバ 130 に送信し、権利管理サーバ 110 または配信サーバ 130 から前記要求に対応するコンテンツまたは子供用ライセンスチケットなどを受信する。また、通信部 152 は、各種の要求を権利管理サーバ 110 または配信サーバ 130 に送信する際に、子端末 150 内部の ROM などに記憶されている端末 ID を読み出して、読み出された端末 ID を前記各要求に添付した上で送信する。ライセンスチケット蓄積部 153 は、発行を受けたライセンスチケットのうち、すぐに消費しなくても良いライセンスチケットを蓄積しておくための記憶領域である。ライセンスチケット処理部 154 は、子供用ライセンスチケットを解釈して、ライセンスチケットのコンテンツ鍵をコンテンツ再生部 156 に渡すとともに、発行を受けたライセンスチケット中のコンテンツ利用条件を一定時間おきに参照しながら、コンテンツ再生部 156 によるコンテンツの再生が、ライセンスチケットに示されているコンテンツ利用条件に忠実に行われるようコンテンツ再生部 156 を制御する。コンテンツ蓄積部 155 は、子端末 150 に配信されたコンテンツを、ライセンスチケットの有無にかかわらず蓄積するための記憶領域である。コンテンツ再生部 156 は、耐タンバに作られたセキュアな MPEG デコーダなどの再生モジュールを備え、配信され

たコンテンツの暗号をライセンスチケット処理部 154 から渡されたコンテンツ鍵を用いて復号し、ライセンスチケット処理部 154 による制御の元にコンテンツを再生する。

【0021】図 2 (a) は、図 1 のユーザデータベース 111 に記憶されているユーザ情報 200 のデータ構成の一例を示す図である。図 2 (b) は、本パレンタル制御システム 100 の親ユーザである「江戸川長春」氏のユーザ情報 200 を具体例として示す図である。図 2

(a) のように、ユーザ情報 200 は、ヘッダ 201 とユーザ情報 200 の実際のデータ部分であるユーザ情報データ 210 とから構成され、ヘッダ 201 は、ヘッダ 201 のデータサイズを示すユーザ情報ヘッダサイズ 202 と本実施の形態のパレンタル制御システム 100 がシステム内で各ユーザを取り扱うためにシステム内で一意に定められたユーザ ID 203 とから構成される。また、ユーザ情報データ 210 は、ユーザ情報データサイズ 211、氏名 212、郵便番号 213、住所 214、電話番号 215、メールアドレス 216、認証用ユーザ ID 217、パスワード 218 およびクレジットカード番号 219 の各項目を含んでいる。ユーザ情報データサイズ 211 は、ユーザ情報データ 210 のデータサイズを示す項目である。氏名 212 は、ユーザ ID 203 で特定されるユーザの氏名の表記を示す項目である。郵便番号 213 は、次の項目である住所 214 に示される住所の郵便番号を示す。住所 214 は、ユーザ ID 203 で特定されるユーザの住所を示す。電話番号 215 は、当該ユーザの電話番号を示す。メールアドレス 216 は、当該ユーザのメールアドレスを示す。

【0022】認証用ユーザ ID 217 は、ユーザがパレンタル情報データベース 114 に子端末 150 を登録するとき、および当該ユーザが登録済みの子端末 150 にパレンタル利用条件を設定するときの認証に用いられるユーザ ID で、当該ユーザがあらかじめ自分で登録したものである。パスワード 218 は、前記認証用ユーザ ID 217 と同様に、パレンタル情報データベース 114 に子端末 150 を登録したり、子端末 150 にパレンタル利用条件を設定したりするときの認証に用いられ、当該ユーザがあらかじめ自分で登録したパスワードである。このパレンタル制御システム 100 内においては、共通のクレジットカード番号 219 で登録されているユーザのうちの 1 人だけが、共通のクレジットカード番号 219 が登録されている他のユーザの端末に対してパレンタル制御を設定できる親とみなされ、この認証用ユーザ ID 217 とパスワード 218 とを設定することができる。従って、子供ユーザの認証用ユーザ ID 217 およびパスワード 218 の両項目は、空欄である。クレジットカード番号 219 は、当該ユーザが権利管理サーバ 110 からコンテンツ利用権を購入する際に利用するクレジットのカード番号を示す項目である。

【0023】図2(b)に示すように、親ユーザ「江戸川長春」氏のユーザ情報200において、ユーザ情報ヘッダサイズ202の項目には、ヘッダ201のデータサイズを示す数値が記述される。また、ユーザID203には、パレンタル制御システム100内で権利管理サーバ110および配信サーバ130が「江戸川長春」氏を特定するためのIDである「USO800」というデータが記述される。このユーザ情報200は、「江戸川長春」氏のような親ユーザだけでなく、子端末150を操作する子供ユーザも含んだすべてのユーザについて作成され、各ユーザ情報200はユーザID203によって管理される。

【0024】さらに、ユーザ情報データサイズ211の項目には、ユーザ情報データ210のデータサイズを示す数値が記述される。氏名212の項目には、ユーザID203「USO800」で特定される「江戸川長春」氏の氏名の表記である「江戸川長春」というデータが記述される。郵便番号213には、次の住所214の項目に示された「江戸川長春」氏の住所である「門松市門松町1006」の郵便番号である「5718501」が記述される。電話番号215には、「江戸川長春」氏の電話番号である「083581101」が、メールアドレス216の項目には「江戸川長春」氏のメールアドレスである「nagaharu@ndrm.jp」が記述される。認証用ユーザID217の項目には、「江戸川長春」氏があらかじめパレンタル制御設定用に登録した認証用のユーザIDである「DRM27439」が書き込まれており、パスワード218の項目には、「江戸川長春」氏がパレンタル制御設定用に登録した認証用のパスワード「NA*1*SHO」が記述される。クレジットカード番号219の項目には、「江戸川長春」氏が購入したコンテンツ利用権に対して支払いを行うクレジットカードの番号「4901 6900 9194 6374」が記述される。

【0025】上記のようなユーザの個人情報は、各ユーザがこのパレンタル制御システム100からコンテンツを購入した初回にユーザデータベース111に登録される。その後、ユーザ情報200には、すでに登録された端末からのユーザ情報更新要求に従って、例えば、子供ユーザの登録などによるユーザ情報の追加や、転居などによる住所214の変更等、ユーザ情報200の更新処理が行われる。権利管理サーバ110は、このユーザ情報200を用いて、ユーザの認証処理、課金処理および親子関係の特定などを行うことができる。

【0026】一方、上記ユーザ情報の登録に併せて、当該ユーザが操作する少なくとも1つの端末が端末情報データベース112に登録される。図3は、図1に示した端末情報データベース112に記憶されている端末情報300のデータ構成の一例を示す図である。図のように、端末情報300には、ユーザID203と端末ID

301との対応付けが示されている。ユーザID203の項目には、ユーザ情報200に記述されていたユーザID203と同一のユーザIDが記述される。また、端末ID301の項目には、本パレンタル制御システム100がシステム内で当該端末を取り扱うために各端末にシステム内で一意に定められた端末IDが記述される。この端末ID301は、端末がNet DRMコンテンツ配信システムのコンテンツ再生専用端末である場合には、製造時に、システム内で一意に定められ内蔵のICチップやROMに書き込まれているもので、当該端末が汎用のパーソナルコンピュータなどの場合には、Net DRM専用の通信用ICカードなどに書き込まれる。さらに、端末名302の項目には、各端末のメーカーコードや端末名などが記述される。

【0027】例えば、ここでは、ユーザID203「USO800」で特定されるユーザ「江戸川長春」氏に対応して、端末ID301「PAP111」によって特定される端末と、もう1台、端末ID301「PAL222」によって特定される端末とが登録されていることがわかる。また、端末ID301「PAP111」に対応する端末名302の項目には、当該端末の端末名である「PANET-V3」が、端末ID301「PAL222」に対応する端末名302の項目には、端末名302「PANAPANA1」が記述されている。同様に、例えば、ユーザID203「USO817」によって特定されるユーザが前記ユーザ「江戸川長春」氏の長女「江戸川子夏」であり、ユーザID203「USO871」によって特定されるユーザがユーザ「江戸川長春」氏の次女「江戸川子秋」である場合、子供ユーザ「江戸川子夏」に対応して、端末名302「PANAPANA1」の端末ID301「PAN333」が登録されており、子供ユーザ「江戸川子秋」に対応して、端末名302「PANANA-L」の端末ID301「PAL444」が登録されている。

【0028】この端末情報300は、各ユーザがこのパレンタル制御システム100からコンテンツを購入した初回に端末情報データベース112に登録されるが、その後、子端末150を増設したり、親が専ら使用していた端末を子供用の子端末150として登録しなおしたりする場合、すでに登録されている端末からの端末情報更新要求に従って、端末情報管理部116によって追加、削除および変更などの更新処理が行われる。権利管理サーバ110は、この端末情報300を用いて、それぞれ端末ID301を伴って各家庭から送信されてくる各種要求のユーザID203を特定することができ、ユーザID203によって管理されているユーザ情報および権利情報などの各情報を調べることができる。

【0029】本パレンタル制御システム100のNet DRMコンテンツ配信システムにおいて、上記各ユーザは、配信を受けたコンテンツを利用する際に、権利管理

サーバ 110 から購入したコンテンツ利用権に基づいて、ライセンスチケットの発行を受ける。このライセンスチケットが発行される大元のコンテンツ利用権を表しているのがコンテンツ利用権データベース 113 に記憶されている権利情報である。図 4 は、図 1 に示したコンテンツ利用権データベース 113 における権利情報 400 の格納方法を示す図である。コンテンツ利用権データベース 113 内において、権利情報 400 は、ユーザ ID 203 に対応付けて格納されており、権利情報 ID 403 によって管理されている。権利情報 ID 403 は、権利管理サーバ 110 において各権利情報 400 を特定するために、ライセンスチケット生成部 117 によって一意に定められた ID である。図 4 では、例えば、ユーザ ID 203 「USO800」のユーザ「江戸川長春」氏が、権利情報 ID 403 「10000001」で特定される権利情報 400 が示すコンテンツ利用権と、権利情報 ID 403 「10000002」で特定される権利情報 400 が示すコンテンツ利用権とを所有していることが示されている。また、ユーザ ID 203 「USO817」のユーザ「江戸川子夏」が権利情報 ID 403 「10000003」で特定される権利情報 400 が示すコンテンツ利用権を所有し、ユーザ ID 203 「USO871」のユーザ「江戸川子秋」が権利情報 ID 403 「10000006」で特定される権利情報 400 が示すコンテンツ利用権を所有していることが示されている。

【0030】図 5 (a) は、図 4 に示したコンテンツ利用権データベース 113 内の権利情報 400 のデータ構成の一例を示す図である。図 5 (b) は、ユーザ ID 203 「USO817」のユーザ「江戸川子夏」が所有する権利情報 ID 403 「10000003」の権利情報 400 を具体例として示す図である。図 5 (a) に示すように、権利情報 400 は、大きく分けて、権利情報ヘッダ 401、アクション情報 410 およびコンテンツグループ情報 420 からなる。権利情報ヘッダ 401 は、各権利情報 400 自体を表す情報であって、権利情報ヘッダサイズ 402、権利情報 ID 403、有効期間開始時刻 404、有効期間終了時刻 405、移動許可フラグ 406、発行可能 LT 数 407、LT 発行可能端末 ID 408 およびアクション情報数 409 などの項目を含んでいる。

【0031】権利情報ヘッダサイズ 402 の項目には、権利情報ヘッダ 401 のデータサイズを示す数値が記述される。権利情報 ID 403 の項目には、前述の権利情報 ID が記述される。例えば、ここではユーザ「江戸川子夏」が所有するコンテンツ利用権を表した権利情報 400 を特定する権利情報 ID 403 「10000003」が記述されている。有効期間開始時刻 404 は、当該権利情報 400 が有効になる日時を示す情報を記述するための項目である。ここでは、有効期間開始時刻 40

4 「200205010900」が 24 時間表示で記述されており、この権利情報 400 で表されるコンテンツ利用権が「2002 年 05 月 01 日 09 時 00 分」から有効になることが示されている。有効期間終了時刻 405 は、当該権利情報 400 の有効期間の終了日時を示す情報を記述するための項目である。ここでは、有効期間終了時刻 405 「200304300900」が 24 時間表示で記述されており、この権利情報 400 で表されるコンテンツ利用権が「2003 年 04 月 30 日 09 時 00 分」まで有効であることが示されている。

【0032】また、移動許可フラグ 406 の項目には、この権利情報 400 に基づいてライセンスチケットを生成した場合に、そのライセンスチケットを同一ユーザが所有する別の Net DRM 端末へ移動することを許可するか否かを示すフラグが記述される。ここでは、移動許可フラグ 406 「0」が記述されており、当該ユーザ「江戸川子夏」が端末情報データベース 112 に端末 2 台を登録していた場合でも、この権利情報 400 に基づいて発行されたライセンスチケットを、指定された端末以外の他の端末に移動することができない。発行可能 LT 数 407 の項目には、当該権利情報 400 で示される権利に基づいて、何枚のライセンスチケットを発行できるかを示す枚数が記述される。ここでは、発行可能 LT 数 407 「10」が記述されており、この権利情報 400 に基づいて、ユーザ「江戸川子夏」は、あと「10」枚のライセンスチケットの発行を受けることができることが分かる。LT 発行可能端末 ID 408 の項目には、ライセンスチケット発行要求に対して当該権利情報 400 に基づいて生成されるライセンスチケットを、発行してもよい端末の端末 ID 301 が記述される。ここでは、LT 発行可能端末 ID 408 に、ユーザ「江戸川子夏」に対して登録された端末の端末 ID 301 「PAN333」が記述されている。アクション情報数 409 の項目には、アクション情報 410 の数を示す数値が記述される。ここでは例えば、アクション情報数 409 「1」が記述されており、当該権利情報 400 に従って利用されるコンテンツグループのアクション（動作モード）が「1つ」であることが分かる。

【0033】アクション情報 410 は、各コンテンツグループの動作モードに応じてコンテンツの利用条件を表す情報であって、コンテンツグループの動作モードの数だけある。コンテンツグループとは、共通の動作モードで利用できるコンテンツのグループで、例えば、音楽コンテンツであれば、1つの CD ジャケットに収録された楽曲のグループであったり、映像コンテンツであれば、同じシリーズの映画やアニメであったりする。また、コンテンツの動作モードとは、コンテンツの内容に応じて定まる利用形態のことで、例えば、コンテンツが映像コンテンツであれば、コンテンツの映像をテレビなどの表示装置に表示させる View、表示された映像に含まれる静

止画像を印刷するPrintおよび音楽や音声だけを再生してスピーカから出力するReproductionなどの利用形態がある。また、例えば、コンテンツが音楽コンテンツであれば、音楽を再生してスピーカから出力するReproductionおよび歌詞を印刷するPrintなどがある。さらに、コンテンツがゲームコンテンツなどであれば、ゲームで遊ぶPlay、ゲームのテーマ音楽だけを再生してスピーカから出力するReproductionおよびゲーム画面を印刷するPrintなどの様々な利用形態がある。一方、コンテンツの動作モードに応じたコンテンツ利用条件としては、動作モードがViewであれば、見ることに関するコンテンツの利用条件が記述され、コンテンツの動作モードがPrintであれば、プリントに関するコンテンツの利用条件が記述される。

【0034】このようなアクション情報410は、アクション情報サイズ411、アクションID412、最長利用時間413、一回判定しきい値・回数カウンタ／累積利用時間414およびプラグイン条件415などから構成される。アクション情報サイズ411の項目には、当該アクション情報410のデータサイズを示す数値が記述される。アクションID412の項目には、当該アクション情報410がどの動作モードに対応しているかを示すアクションのIDが記述される。ここでは、アクションID412「View01」が記述されており、このアクション情報410がコンテンツグループをアクションID412「View01」という動作モードで利用する際のコンテンツ利用条件であることを示している。最長利用時間413の項目には、コンテンツを連続して利用できる最大時間が記述される。ここでは、最長利用時間413「180」が記述されており、このコンテンツグループを連続して3時間利用できることを示している。

【0035】一回判定しきい値・回数カウンタ／累積利用時間414の項目には、回数カウンタおよび累積利用時間のうちのいずれの条件を指定するかを示すフラグと、フラグによって指定された利用条件が記述される。ここでは、例えば、一回判定しきい値・回数カウンタ／累積利用時間414の項目に、フラグ「1」と、フラグ

「1」に対応する累積利用時間「1800」とが記述されている。これは、ユーザ「江戸川子夏」が、この権利情報400に基づいて、対応するコンテンツグループに属するコンテンツを、通算して30時間利用できることを示している。これに対し、例えば、フラグが「0」の場合、一回判定しきい値・回数カウンタを用いてコンテンツの利用条件が記述される。一回判定しきい値は、何分間の利用を1回とカウントするかを示すしきい値で、例えば、一回判定しきい値が「30」と記述されている場合には、コンテンツを30分利用すると1回の利用と数えられる。また、回数カウンタは、前記一回判定しきい値を用いてコンテンツの利用回数をカウントし、この権利情報400を用いてコンテンツグループ内のコンテ

ンツを何回まで利用できるかを示す項目である。この回数カウンタを使用する場合、一回判定しきい値が「30」であったとすると、29分までの利用を何回繰り返しても回数カウンタは減少しない。回数カウンタは、このような利用量の計測方法が累積利用時間よりも適しているコンテンツの場合に用いられる。プラグイン条件415の項目には、コンテンツの内容や再生処理に特化する条件が記述される。例えば、音楽コンテンツに特化するプラグイン条件として、音楽データの量子化数、サンプリング周波数およびチャンネル数などの条件が記述される。

【0036】コンテンツグループ情報420は、当該権利情報400に記述されているコンテンツ利用条件によってコンテンツ利用権の範囲が特定され、当該権利情報400に基づくライセンスチケットに従って再生可能となるコンテンツのグループを特定するための情報であって、コンテンツグループID423、コンテンツ数421およびコンテンツID422の各項目から構成される。コンテンツグループID423の項目には、当該コンテンツグループを特定するためのIDが記述される。例えば、コンテンツグループID423「VANI0805」は、このコンテンツグループが「アニメ 猫の惑星」シリーズであることを示している。コンテンツ数421の項目には、当該権利情報400に基づいて利用することができるコンテンツグループ内のコンテンツ数が記述される。例えば、このコンテンツグループが「アニメ 猫の惑星」シリーズの第1巻から第10巻で構成されているとすると、コンテンツ数421にはコンテンツグループを構成するコンテンツの数である「10」が記述される。従って、以下には10個のコンテンツID422が列記される。コンテンツID422の項目には、当該コンテンツグループに含まれる各コンテンツのコンテンツIDが記述される。例えば、#1のコンテンツID422「VANI08050」は、当該コンテンツグループの1つ目のコンテンツが、コンテンツID422「VANI08050」によって特定される「アニメ 猫の惑星」シリーズの第1巻であることを示している。また、#n(= #10)のコンテンツID422「VANI08059」は、当該コンテンツグループの10番目のコンテンツが、コンテンツID422「VANI08059」によって特定される「アニメ 猫の惑星」シリーズの第10巻であることを示している。このように、コンテンツ利用権利データベース113内の権利情報400には、どのユーザがどのコンテンツをどのような利用形態で利用した場合にどれぐらい利用できるかが細かく規定されている。

【0037】このように権利情報400は、どのユーザにも親子の区別なく作成されるのであるが、本パレンタル制御システム100に登録された親ユーザは、自分の子供であるユーザが使用する端末をあらかじめパレンタル情報データベース114に登録しておくことによっ

て、子供によるコンテンツの利用に対していつでも利用制限を設定することができる。図 6 は、図 1 に示したパレンタル情報データベース 1 1 4 に記憶されるパレンタル情報 6 0 0 のデータ構成の一例を示す図である。パレンタル情報 6 0 0 は、親ユーザによって設定された各子供ユーザのコンテンツ利用制限の具体的内容を表す情報であって、パレンタル端末登録要求に含まれる認証用ユーザ ID 2 1 7 とパスワード 2 1 8 との組である認証情報 6 1 0 に対応付けて格納される。この認証情報 6 1 0 は、親ユーザが登録済みの子端末 1 5 0 に対してパレンタル情報 6 0 0 にパレンタル利用制限の追加、変更、削除などを行う場合、および登録済みの子端末 1 5 0 の登録を解除する場合などに用いられる。また、このパレンタル情報 6 0 0 は、パレンタル情報データベース 1 1 4 にあらかじめ登録された子端末 1 5 0 の端末 ID 3 0 1 ごとに管理され、さらに、その端末で利用することができるコンテンツ利用権の権利情報 ID 4 0 3 ごとに管理される。

【0038】パレンタル情報 6 0 0 は、親ユーザによる利用制限を受けた結果、子供がコンテンツを利用することができる利用範囲を示した利用条件であって、利用期間制限開始時刻 6 0 1、利用期間制限終了時刻 6 0 2、利用回数制限 6 0 3、連続利用時間制限 6 0 4 および累積利用時間制限 6 0 5 などの項目から構成される。利用期間制限開始時刻 6 0 1 と利用期間制限終了時刻 6 0 2 とは、例えば、夏休みや春休みなど、子供の学校が休みの間だけ子端末 1 5 0 のユーザにコンテンツの利用を許可するというように、子供ユーザの利用期間を制限する場合に設定され、制限されたコンテンツ利用期間の開始日時と終了日時とが記述される項目である。ここでは、(ユーザ ID 2 0 3 「USO817」の子供ユーザ「江戸川子夏」が) 端末 ID 3 0 1 「PAN333」の子端末 1 5 0 を使って利用する権利情報 ID 4 0 3 「10000003」の権利情報 4 0 0 に対して、利用期間制限開始時刻 6 0 1 「200207200900」と利用期間制限終了時刻 6 0 2 「200208311900」とが設定されている。これは、すなわち、端末 ID 3 0 1 「PAN333」の子端末 1 5 0 が、利用期間制限開始時刻 6 0 1 「2002年07月20日09時00分」から利用期間制限終了時刻 6 0 2 「2002年08月31日19時00分」までの期間(夏休みの間)しか、権利情報 ID 4 0 3 「10000003」の権利情報 4 0 0 を利用できないというパレンタル利用制限のもとにあることを示している。

【0039】利用回数制限 6 0 3 の項目には、権利情報 ID 4 0 3 で特定される権利情報 4 0 0 が回数カウンタで表されている場合、制限された利用回数が記述される。権利情報 4 0 0 が累積利用時間で表されている場合には、この項目は空欄である。連続利用時間制限 6 0 4 の項目には、親ユーザによって制限された連続利用時間

が記述される。ここでは、端末 ID 3 0 1 「PAN333」の子端末 1 5 0 を使って利用する権利情報 ID 4 0 3 「10000003」の権利情報 4 0 0 に対して、連続利用時間制限 6 0 4 「60」分が記述されている。これにより、端末 ID 3 0 1 「PAN333」の子端末 1 5 0 のユーザである「江戸川子夏」は、権利情報 ID 4 0 3 「10000003」の権利情報 4 0 0 を使って連続して1時間以上コンテンツを利用することができない。累積利用時間制限 6 0 5 の項目には、権利情報 4 0 0 が累積利用時間で表されている場合に、制限された累積利用時間が記述される。

【0040】なお、ここでの具体例は、コンテンツがアニメ映画の場合を説明したが、上記以外にも、親ユーザは、例えば、子供ユーザが利用するコンテンツが常時接続ゲームなどの場合は、接続料金の上限を設けるような利用料金制限の項目を設けたり、コンテンツの使用時間帯を制限するために使用時間帯制限の項目を設けたりすることもできる。

【0041】このようにパレンタル情報 6 0 0 には、図 6 に示したように子端末 1 5 0 のユーザごとに、また、子端末 1 5 0 のユーザが利用するコンテンツグループごと(権利情報 4 0 0 ごと)に、異なる利用制限を設けることができる。この結果、親ユーザは、子供ユーザそれぞれの成長に応じて、その利用制限を緩和したり、強化したり、あるいは利用制限そのものを解除することができるとともに、多様な制限方法の中からより適切な方法を選んで子供のコンテンツの利用に制限を課することができるという効果がある。

【0042】図 7 (a) は、図 1 に示したパレンタル情報データベース 1 1 4 内におけるパレンタル情報 6 0 0 の格納方法の他の例を示す図である。図 7 (b) は、図 1 に示したパレンタル情報データベース 1 1 4 内におけるパレンタル情報 6 0 0 の格納方法のさらに他の例を示す図である。図 7 (c) は、図 1 に示したパレンタル情報データベース 1 1 4 内におけるパレンタル情報 6 0 0 の格納方法のさらに他の例を示す図である。図 7 (d) は、図 1 に示したパレンタル情報データベース 1 1 4 内におけるパレンタル情報 6 0 0 の格納方法のさらに他の例を示す図である。ただし、図 7 (a) ~ 図 7 (d) において、認証情報 6 1 0 の項目は図示を省略している。図 7 (a) に示すように、パレンタル情報 6 0 0 を端末 ID 3 0 1 と権利情報 ID 4 0 3 とに対応付けて格納しておくことにより、特定の子端末 1 5 0 で特定の権利情報 4 0 0 を利用する場合に有効なパレンタル情報 6 0 0 を適用することができる。

【0043】また、図 7 (b) のように、パレンタル情報 6 0 0 をユーザ ID 2 0 3 と権利情報 ID 4 0 3 とに対応付けて格納しておくことにより、特定のユーザが特定の権利情報 4 0 0 を利用する場合に有効なパレンタル情報 6 0 0 を適用することができる。図 7 (c) のよう

に、パレンタル情報600を端末ID301に対応付けて格納しておくことにより、特定の子端末150で利用されるすべての権利情報400に対して、共通のパレンタル情報600を適用することができる。さらに、図7(d)のように、パレンタル情報600をユーザID203に対応付けて格納しておくことにより、特定のユーザが利用するすべての権利情報400に対して、共通のパレンタル情報600を適用することができる。なお、ここでは親ユーザが、子供ユーザの利用できる権利情報400ごとに利用制限を設定する場合について説明したが、さらに詳細に、子供ユーザが当該権利情報400を用いて利用できるコンテンツの各アクションに応じて利用制限を設定するようにしてもよい。

【0044】以上のように構成された本発明の実施の形態1におけるパレンタル制御システム100について、以下その動作を図8、10、16、19および20に示すフローチャートと図9、11~15、17~18および21とを用いて説明する。図8は、親ユーザ「江戸川長春」氏がパレンタル情報データベース114に子端末150を登録する際の処理手順を示すフローチャートである。NetDRMコンテンツ配信システムのユーザである「江戸川長春」氏は、小学生の次女「江戸川子秋」のために、新しくNetDRM専用端末「PANANA-L」を購入した。パレンタル情報データベース114に新規端末「PANANA-L」を登録する前提として、ユーザ「江戸川長春」氏は、あらかじめ権利管理サーバ110に、この端末「PANANA-L」と、この端末を専ら使用するユーザ「江戸川子秋」とを登録する必要がある。具体的には、ユーザデータベース111にユーザ「江戸川子秋」の個人情報を登録するためのユーザ登録処理と、端末情報データベース112に端末「PANANA-L」とそれを使用するユーザである「江戸川子秋」とを登録するための端末登録処理とを行う。

【0045】ユーザ登録処理および端末登録処理において、それぞれの登録要求を行う際には、当該端末「PANANA-L」から、端末内部に記憶されていた端末ID301「PAL444」が自動的に読み出され、前記各登録要求とともに権利管理サーバ110に送信される。これによって、権利管理サーバ110において、端末ID301「PAL444」にユーザID203「USO871」が割り当てられ、ユーザID203「USO871」に対応するユーザ「江戸川子秋」のユーザ情報200と端末情報300とが生成される。また、この処理に併せて、親ユーザ「江戸川子秋」が、コンテンツ「アニメ 猫の惑星」シリーズを見るためのコンテンツ利用権を「江戸川子秋」の名前で購入しておくことにより、権利情報ID403「10000006」の権利情報400が生成される。ユーザ「江戸川長春」氏は、すでに中学生の長女「江戸川子夏」(ユーザID203「USO817」)のために、NetDRM専用端末の

1つである「PANAPANAL」(端末ID301「PAN333」)を登録しており、長女「江戸川子夏」のユーザ登録を行う際に、自分の子供たちがコンテンツを利用するときのパレンタル利用制限を将来において設定すべく、パレンタル設定用の認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」とを追加登録して、自分「江戸川長春」のユーザ情報200を更新している。

【0046】上記のような処理を行った上で、まず、
10 「江戸川長春」氏は、購入した子端末150「PANANA-L」の液晶表示パネルなどに表示される図示しないメニュー画面から、「パレンタル端末登録」画面を呼び出し、画面内の案内に従ってリモコンなどを操作し、権利管理サーバ110に子端末150のパレンタル登録要求を送信する。図9は、子端末150の液晶表示パネルなどに表示される「パレンタル端末登録」画面900の一例を示す図である。図のように、「パレンタル端末登録」画面900には、案内文901「この端末をパレンタル制御しますか?」が表示され、さらに「制御しない」と表示されたチェックボタン902および「制御する」と表示されたチェックボタン903が表示されている。また、「パレンタル端末登録」画面900の中央部には、パレンタル設定用の認証用ユーザID217の入力を受け付けるユーザID入力枠904と、パスワード218の入力を受け付けるパスワード入力枠905とが表示されている。さらに、「パレンタル端末登録」画面900の下部には、ユーザが「パレンタル端末登録」画面900への入力内容を確認した後、入力結果を権利管理サーバ110に送信するためのOKボタン906が表示されている。

【0047】ユーザ「江戸川長春」氏は、「パレンタル端末登録」画面900の「制御する」と表示されたチェックボタン903にチェックを入力し、ユーザID入力枠904とパスワード入力枠905とにそれぞれ、認証情報610である認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」とを入力した後、入力内容が正しく入力されているか否かを確認し、OKボタン906を押下する。これにより、子端末150の要求部151は、認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」とを含んだパレンタル端末登録要求を、通信部152に送信する(S801)。通信部152は、子端末150「PANANA-L」のROMなどに記憶されている端末ID301「PAL444」を自動的に読み出して(S802)、要求部151から取得したパレンタル端末登録要求に添付し、権利管理サーバ110に送信する。

【0048】子端末150からパレンタル端末登録要求を受信した権利管理サーバ110では、まず、ユーザ情報管理部115が、パレンタル端末登録要求に含まれて

いる認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」とを、ユーザデータベース111内のユーザ情報200と照合し(S803)、認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」との組が一致するユーザ情報200があれば(S804)、当該レンタル端末登録要求が正当なユーザによるものと認証する。また、ユーザ情報管理部115は、さらに、レンタル端末登録要求に含まれている認証情報610である認証用ユーザID217「DRM27439」およびパスワード218「NA*1*SHO」と同じ認証用ユーザID217およびパスワード218が記述されているユーザ情報200(ユーザID203「USO800」)内のクレジットカード番号219「4901 6900 9194 6374」を調べる。一方、レンタル端末登録要求に添付された端末ID301「PAL444」によって特定されるユーザID203「USO871」のユーザ情報200を調べ、当該ユーザ情報200に記述されているクレジットカード番号219が、認証用ユーザID217「DRM27439」およびパスワード218「NA*1*SHO」が登録されているユーザ情報200のクレジットカード番号219「4901 6900 9194 6374」と一致するか否かを確認する。レンタル情報管理部118は、ユーザ情報管理部115によってレンタル端末登録要求が正当なユーザによるものと認証され、かつ、双方のクレジットカード番号219が一致すると、レンタル端末登録要求に添付されていた端末ID301「PAL444」を認証情報610に対応付けてレンタル情報データベース114に登録し(S805)、当該子端末150「PANANA-L」の登録完了を子端末150に通知して(S806)レンタル端末登録処理を終了する。

【0049】また、ユーザ情報管理部115は、ユーザ情報200内の認証用ユーザID217とパスワード218とが、レンタル端末登録要求に含まれていた認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」とに一致するユーザ情報200がない場合、または、レンタル端末登録要求に含まれていた認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」とが記述されているユーザ情報200のクレジットカード番号219と、レンタル端末登録要求に添付された端末ID301に対応するユーザID203のユーザ情報200に記述されているクレジットカード番号219とが一致しない場合(S804)、当該レンタル端末登録要求が正当なユーザによるものと認証しない。レンタル情報管理部118は、ユーザ情報管理部115によって当該レンタル端末登録要求が正当なユーザによるものと認証されなければ、当該子端末150に、レンタル端

末登録要求の不受理の通知を送信してレンタル端末登録処理を終了する。

【0050】図10は、図8の処理手順に従ってすでに登録されている端末ID301「PAN333」の子端末150について、親ユーザ「江戸川長春」氏がレンタル利用制限を設定する際の処理手順を示すフローチャートである。図8で説明したレンタル端末登録処理では、レンタル端末登録要求を、レンタル制御の対象となる子端末150自身から権利管理サーバ110に送信したが、すでにレンタル情報データベース114に登録されている子端末150、例えば子端末150「PANAPANA1」(端末ID301「PAN333」)に対してレンタル利用制限を設定する場合に、どの端末からレンタル利用制限設定要求を行ってもよい。ここでは、親ユーザ「江戸川長春」氏が自分用に登録してあるパーソナルコンピュータの親端末140「PANET-V3」を用いて、長女「江戸川子夏」の使用する「PANAPANA1」(端末ID301「PAN333」)にレンタル利用制限を設定する場合について説明する。

【0051】例えば、親ユーザ「江戸川長春」氏は、高校受験を控えている長女「江戸川子夏」のコンテンツの利用につき、レンタル利用制限を設定することにしたとする。親ユーザ「江戸川長春」氏は、長女「江戸川子夏」が特に熱中しているコンテンツ「アニメ 猫の惑星」シリーズを夏休みの間だけは見せてあげたいが、連続して「1時間」以上見せないようにレンタル利用制限を設定しようと考えている。一方、小学生の次女「江戸川子秋」については、パーソナルコンピュータやコンテンツ再生専用端末などの操作に不慣れであり、将来、テレビのチャンネル操作をするような感覚でこれらの機器を操作できるように、レンタル利用制限を設定しないで、もっとこれらの機器に慣れ親しませようと考えている。

【0052】そこで、親ユーザ「江戸川長春」氏は、親端末140「PANET-V3」のハードディスクに格納されているNetDRM接続専用ソフトを起動すると、当該NetDRM接続専用ソフトによって実現されるデータブラウズ部142が起動される。起動されたデータブラウズ部142は、まず、NetDRMメニュー画面を図示しない液晶表示パネルなどに表示させるので、ユーザ「江戸川長春」氏は、そのメニューの中から「レンタル利用制限設定要求」を選択して、レンタル利用制限設定画面を表示させる。図11は、親端末140の液晶表示パネルなどに表示されるレンタル利用制限設定画面1100の一例を示す図である。図のように、レンタル利用制限設定画面1100には画面タイトル1101「レンタル利用制限の設定(1/4)」が表示されており、このレンタル利用制限設定画面1100が、レンタル利用制限を設定するための4画面

のうちの最初の入力画面であることが分かる。この画面タイトル 1101 の下部には、案内文 1102 「子端末を検索するため、ユーザ ID とパスワードを入力してください。」が表示されており、その下に、ユーザ ID 入力枠 904 とパスワード入力枠 905 と OK ボタン 906 とが表示されている。ユーザ ID 入力枠 904、パスワード入力枠 905 および OK ボタン 906 の機能は、図 9 で説明したものと同様である。

【0053】「江戸川長春」氏は、案内文 1102 に従って、パレンタル利用制限設定画面 1100 のユーザ ID 入力枠 904 とパスワード入力枠 905 とに認証情報 610 である認証用ユーザ ID 217 「DRM27439」とパスワード 218 「NA* I * SHO」とを入力し、入力内容に間違いがないか確認した上、OK ボタン 906 を押下する。これにより、データブラウズ部 142 は、認証用ユーザ ID 217 「DRM27439」とパスワード 218 「NA* I * SHO」とを含むパレンタル利用制限設定要求を、通信部 141 を介して権利管理サーバ 110 に送信する (S1001)。なお、親端末 140 の通信部 141 も、子端末 150 の通信部 152 と同様、通信用 IC カードなどに記憶されている親端末 140 の端末 ID 301 「PAP111」を読み出して、パレンタル利用制限設定要求に添付し、権利管理サーバ 110 に送信しているが、ここではパレンタル利用制限設定処理に親端末 140 の端末 ID 301 「PAP111」が直接使われることがないので、説明および図示を省略している。

【0054】親端末 140 からパレンタル利用制限設定要求を受信した権利管理サーバ 110 では、パレンタル情報管理部 118 がパレンタル利用制限設定要求に含まれている認証情報 610 (認証用ユーザ ID 217 「DRM27439」とパスワード 218 「NA* I * SHO」との組) をキーとして、パレンタル情報データベース 114 を検索し、検索の結果、認証情報 610 に対応する端末 ID 301 が登録されている場合には、登録されている端末 ID 301 をすべて抽出する (S1002)。さらに、パレンタル情報管理部 118 は、端末情報管理部 116 に抽出した端末 ID 301 を通知してそれらに対応するユーザ ID 203 を特定させ、特定されたユーザ ID 203 をユーザ情報管理部 115 に通知してユーザ情報 200 を検索させ、各端末 ID 301 に対応するユーザの氏名 212 を取得する。パレンタル情報管理部 118 は、子端末情報の一覧である第 2 パレンタル利用制限設定画面に、抽出された端末 ID 301 の子端末 150 を列記した上、各子端末 150 に対応するユーザの氏名 212 を併記して、要求元の親端末 140 に送信する。

【0055】図 12 は、図 11 に示したパレンタル利用制限設定画面 1100 への入力に応じて親端末 140 の液晶表示パネルに表示される第 2 パレンタル利用制限設

定画面 1200 の一例を示す図である。図のように、第 2 パレンタル利用制限設定画面 1200 には、画面タイトル 1201 「パレンタル利用制限の設定 (2/4)」が表示されており、この第 2 パレンタル利用制限設定画面 1200 が、パレンタル利用制限を設定するための 2 番目の入力画面であることが分かる。また、案内文 1202 「利用制限を設定する対象の子端末を選んでください。」が表示され、その下部に、「全ての子端末」と表示されたチェックボタン 1203 と、「子端末を選択する」と表示されたチェックボタン 1204 とが表示されている。そのさらに下部には、親ユーザの認証情報 610 に対応付けてパレンタル情報データベース 114 に登録されている子端末 150 がそのユーザの氏名 212 とともに列記されている。ここでは、「子端末 1 (ユーザ: 江戸川子夏)」と「子端末 2 (ユーザ: 江戸川子秋)」とが表示されている。このように列記されたそれぞれの子端末 150 に対応して、チェックボタン 1205 とチェックボタン 1206 とが表示されている。これらのチェックボタン 1205 およびチェックボタン 1206 は、表示に対応するそれぞれの子端末 150 の端末 ID 301 「PAN333」および端末 ID 301 「PAL444」と対応付けられている。

【0056】この画面において、親ユーザ「江戸川長春」氏が「全ての子端末」と表示されたチェックボタン 1203 にチェックを入れると、列記されている子端末 150 に対応するチェックボタン 1205 およびチェックボタン 1206 のすべてにチェックが入るようになっている。また、親ユーザ「江戸川長春」氏が「子端末を選択する」と表示されたチェックボタン 1204 にチェックを入れると、列記されている子端末 150 に対応するチェックボタン 1205 およびチェックボタン 1206 のいずれか (または全部でもよい) へのチェックの入力が受け付けられる。ここでは、「江戸川長春」氏は、長女「江戸川子夏」の子端末 150 だけを選択するために、「子端末を選択する」と表示されたチェックボタン 1204 と、「子端末 1 (ユーザ: 江戸川子夏)」と表示されているチェックボタン 1205 とにチェックを入れている。親ユーザである「江戸川長春」氏がこの第 2 パレンタル利用制限設定画面 1200 への入力内容が正しいことを確認した上、画面下部に表示されている OK ボタン 906 を押下すると、チェックボタン 1204 およびチェックボタン 1205 にチェックすることによって選択された子端末 150 の端末 ID 301 「PAN333」が、通信部 141 を介して権利管理サーバ 110 に送信される (S1003)。

【0057】選択された子端末 150 の端末 ID 301 を親端末 140 から受信した権利管理サーバ 110 では、パレンタル情報管理部 118 が、受信された端末 ID 301 に対応する権利情報 1403 をパレンタル情報データベース 114 から読み出して、パレンタル利用

制限の設定対象となるコンテンツグループのコンテンツグループID423をライセンスチケット生成部117に当該権利情報400から抽出させ(S1004)、抽出されたコンテンツグループ名を、コンテンツグループの一覧である第3パレンタル利用制限設定画面に列記した上、親端末140に送信する。図13は、図12に示した第2パレンタル利用制限設定画面1200への入力に応じて親端末140の液晶表示パネルに表示される第3パレンタル利用制限設定画面1300の一例を示す図である。図のように、第3パレンタル利用制限設定画面1300には、上記と同様に、画面タイトル1301「パレンタル利用制限の設定(3/4)」が表示されている。

【0058】さらに、案内文1302「利用制限を設定する対象のコンテンツを選んでください。」が表示され、その下部に、「全てのコンテンツ」と表示されたチェックボタン1303と、「コンテンツを選択する」と表示されたチェックボタン1304とが表示されている。そのさらに下部には、第2パレンタル利用制限設定画面1200で選択された子端末150(端末ID301「PAN333」)で利用できる権利情報400に対応したコンテンツグループ名が列記されている。ここでは、「コンテンツ1(アニメ「猫の惑星」シリーズ)」が表示されている。このように列記(この例示では1つである)されたコンテンツグループに対応して、チェックボタン1305が表示されている。このチェックボタン1305は、表示されたコンテンツグループ「コンテンツ1(アニメ「猫の惑星」シリーズ)」に対応する権利情報400の権利情報ID403「10000003」と対応付けられている。

【0059】この例示では、子供ユーザ「江戸川子夏」に登録されている権利情報400が1つであるので、結果的にはいずれのチェックボタンにチェックを入れても同じであるが、子供ユーザ「江戸川子夏」に対して複数の権利情報400が登録されている場合には、親ユーザ「江戸川長春」氏が「全てのコンテンツ」と表示されたチェックボタン1303にチェックを入れると、列記されているコンテンツグループに対応するチェックボタン1305および他のチェックボタンのすべてにチェックが入るようになっている。また、親ユーザ「江戸川長春」氏が「コンテンツを選択する」と表示されたチェックボタン1304にチェックを入れると、列記されているコンテンツグループに対応するチェックボタン1305および他のチェックボタンのいずれか(または全部でもよい)へのチェックの入力が受け付けられる。ここでは、「江戸川長春」氏は、「コンテンツを選択する」と表示されたチェックボタン1304と、「コンテンツ1(アニメ「猫の惑星」シリーズ)」と表示されているチェックボタン1305とにチェックを入れている。親ユーザである「江戸川長春」氏がこの第3パレンタル利用

制限設定画面1300への入力内容が正しいことを確認した上、画面下部に表示されているOKボタン906を押下すると、チェックボタン1304およびチェックボタン1305にチェックすることによって選択されたコンテンツグループに対応する権利情報400の権利情報ID403「10000003」が、通信部141を介して権利管理サーバ110に送信される(S1005)。

【0060】選択された権利情報400の権利情報ID403を親端末140から受信した権利管理サーバ110では、パレンタル情報管理部118がパレンタル情報データベース114から、あらかじめパレンタル情報データベース114内に格納されている、ごく一般的に想定されるパレンタル利用制限を列挙した利用制限テンプレートを読み出して、パレンタル利用制限の候補となる利用制限テンプレート内のパレンタル利用制限を抽出し(S1006)、抽出されたパレンタル利用制限を、第4パレンタル利用制限設定画面に列記した上、親端末140に送信する。図14は、図13に示した第3パレンタル利用制限設定画面1300への入力に応じて親端末140の液晶表示パネルに表示される第4パレンタル利用制限設定画面1400の一例を示す図である。図のように、第4パレンタル利用制限設定画面1400には、上記と同様に、画面タイトル1401「パレンタル利用制限の設定(4/4)」が表示されている。

【0061】さらに、案内文1402「設定する制限を選んでください。」が表示され、その下部に、「有害なコンテンツの利用を禁止する」と表示されたチェックボタン1403、「連続して利用できる時間は□時間」と表示されたチェックボタン1404、「夜間(9:00PM~9:00AM)の利用を禁止する」と表示されたチェックボタン1406および「カスタマイズ利用制限を作成する」と表示されたチェックボタン1407が表示されている。さらに、「連続して利用できる時間は□時間」と表示されたチェックボタン1404にチェックを入れると、チェックボタン1404に対応した表示文中の□で表示された時間入力枠1405への数値の入力が受け付けられる。ここでは、「江戸川長春」氏は、「有害なコンテンツの利用を禁止する」と表示されたチェックボタン1403と、「連続して利用できる時間は□時間」と表示されたチェックボタン1404と、「カスタマイズ利用制限を作成する」と表示されたチェックボタン1407とにチェックを入れ、時間入力枠1405に「1」と入力している。これらのチェックボタン1403~1407のそれぞれには、パレンタル情報データベース114に保持されているパレンタル情報600内の各パレンタル利用制限の項目が利用制限IDなどによって対応付けられており、例えば、第4パレンタル利用制限設定画面1400のチェックボタン1404には、パレンタル情報600の連続利用時間制限604の

項目が対応付けられており、「江戸川長春」氏がこの第4パレンタル利用制限設定画面1400下部に表示されているOKボタン906を押下すると、チェックボタン1403、チェックボタン1404およびチェックボタン1407にチェックすることによって選択された各パレンタル利用制限のIDと、連続利用時間制限を示すパレンタル利用制限に対する内容データ「1」時間とが、通信部141を介して権利管理サーバ110に送信される(S1007)。

【0062】親端末140において選択された各パレンタル利用制限のIDと、連続利用時間制限を示すパレンタル利用制限に対する内容データ「1」時間とを受信した権利管理サーバ110では、パレンタル情報管理部118が、第3パレンタル利用制限設定画面1300において選択された権利情報ID403「10000003」の権利情報400に対応するパレンタル情報600に、成人向けコンテンツとして分類されているコンテンツに対して利用を禁止するフラグを登録する。また、パレンタル情報管理部118は、チェックボタン1404にチェックが入力されているので、時間入力枠1405に入力された「1」時間に対応する「60」分を連続利用時間制限604の項目に登録する(S1008)。パレンタル情報管理部118はさらに、第4パレンタル利用制限設定画面1400において、「カスタマイズ利用制限を作成する」と表示されたチェックボタン1407にチェックが入力されているので、カスタマイズ利用制限設定画面を親端末140に送信する。

【0063】図15は、親端末140において表示されるカスタマイズ利用制限設定画面1500の一例を示す図である。カスタマイズ利用制限設定画面1500には、対象子端末150で利用できる権利情報400について、利用制限を設定しうるすべての項目が複数のカスタマイズ利用制限設定画面に順次、列挙され、それらの選択入力および対応する補助情報の入力が受け付けられる。図のように、カスタマイズ利用制限設定画面1500には、画面タイトル1501「カスタマイズ利用制限の設定」と、設定内容の選択入力を促す案内文1502「設定する利用制限を選んでください。」とが表示されている。その下部には、「利用期間を限定する」と表示されたチェックボタン1503と、「(西暦)□□□□年□□月□□日□□時(24時間)から」と表示された開始日時入力枠1504と、「(西暦)□□□□年□□月□□日□□時(24時間)まで」と表示された終了日時入力枠1505とが表示されている。開始日時入力枠1504と終了日時入力枠1505とは、「利用期間を限定する」と表示されたチェックボタン1503にチェックが入力されると、年月日と時刻との各入力枠への数値の入力が受け付けられる。その下部には、「通算して□□回(□□□時間)まで利用可」と表示されたチェックボタン1506と、利用回数/累積利用時間制限入力

枠1507とが表示されている。チェックボタン1506にチェックが入力されると、利用回数/累積利用時間制限入力枠1507への数値の入力が受け付けられる。

【0064】ここでは親ユーザ「江戸川長春」氏は、「利用期間を限定する」と表示されたチェックボタン1503にチェックを入れ、開始日時入力枠1504と終了日時入力枠1505とにそれぞれ、「2002072009」「2002083119」と入力している。カスタマイズ利用制限設定画面1500の開始日時入力枠1504と終了日時入力枠1505との各項目は、パレンタル情報600の利用期間制限開始時刻601と利用期間制限終了時刻602とにそれぞれ対応しており、利用回数/累積利用時間制限入力枠1507の項目は、パレンタル情報600の利用回数制限603および累積利用時間制限605の各項目に対応している。「江戸川長春」氏がこのカスタマイズ利用制限設定画面1500の下部に表示されているOKボタン906を押下すると、チェックボタン1503にチェックすることによって選択された各パレンタル利用制限「利用期間制限開始時刻601」と「利用期間制限終了時刻602」とのIDと、開始日時入力枠1504と終了日時入力枠1505とに入力された前記各項目に対応する内容データ「2002072009」と「2002083119」とが、通信部141を介して権利管理サーバ110に送信される(S1009)。

【0065】親端末140からカスタマイズ利用制限設定画面1500への入力結果を受信したパレンタル情報管理部118は、権利情報ID403「10000003」の権利情報400に対応するパレンタル情報600に、利用期間制限開始時刻601「200207200900」と利用期間制限終了時刻602「200208311900」とを登録して処理を終了する(S1010)。

【0066】このように、本実施の形態のパレンタル制御システム100によれば、親ユーザは、最初にパレンタル利用制限を設定する対象となる子端末150をパレンタル情報データベース114にあらかじめ登録しておくことにより、それ以降は、どの端末からでもパレンタル利用制限を設定することができる。また、親ユーザは、権利管理サーバ110から送信されてくるパレンタル利用制限設定画面の表示に従って簡単な入力操作を行うだけで、それぞれの子供の成長に応じたパレンタル利用制限を容易に設定することができる。

【0067】以下では、上記のようにしてパレンタル利用制限が設定された子端末150におけるコンテンツの利用に際し、設定されたパレンタル利用制限がどのように作用するかを説明する。図16は、図6に示したパレンタル情報600が設定されている子端末150(端末ID301「PAN333」)からライセンスチケット発行要求を行った場合の権利管理サーバ110および子

端末 150 における処理手順を示すフローチャートである。なお、同図以降の図においてライセンスチケットのことを「LT」と表記する。端末 ID 301「PAN333」の子端末 150 を専ら使用する子供ユーザ「江戸川子夏」は、図示しないコントローラなどを操作して要求部 151 に指示し、あらかじめ権利管理サーバ 110 からダウンロードしておいた利用可能なコンテンツの一覧を子端末 150 の液晶表示パネルなどに表示させる

(S1101)。「江戸川子夏」が表示されたコンテンツの一覧の中から利用したいコンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ (第 1 巻)」を選択し、利用したい回数 (または時間数)「3 時間」を入力した上、例えば、図 9 に示したような OK ボタン 906 を押下すると、要求部 151 は、コンテンツの一覧に対応付けられたコンテンツ ID のうち、その中から選択された各コンテンツのコンテンツ ID「VAN108050」とその利用回数 (または時間数)とを取得する (S1102)。要求部 151 はさらに、子端末 150 の ROM などから端末 ID 301「PAN333」を読み出し、ライセンスチケット発行要求に添付して権利管理サーバ 110 に送信する (S1103)。

【0068】端末 ID 301「PAN333」の子端末 150 からコンテンツ ID「VAN108050」のライセンスチケット発行要求を受信した権利管理サーバ 110 では、端末情報管理部 116 が端末情報 300 から子端末 150 (端末 ID 301「PAN333」)のユーザ ID 203「USO817」を特定し、ライセンスチケット生成部 117 が、特定されたユーザ ID 203「USO817」に対応するコンテンツ利用権利データベース 113 内の権利情報 400 を検索する。検索の結果、ヒットした権利情報 400 (権利情報 ID 403「10000003」)に、要求されたコンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ (第 1 巻)」の利用権が「3 時間」分以上残っていることが記述されている場合には、ライセンスチケット生成部 117 は、当該権利情報 400 (権利情報 ID 403「10000003」)の一回判定しきい値・回数カウンタ/累積利用時間 414 の項目のうち累積利用時間に対応する利用条件「1800 分」を、今回要求された「180 分」を差し引いた残量である「1620 分」に更新した後、要求されたコンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ (第 1 巻)」を「3 時間」利用できるライセンスチケット 1 を生成する (S1104)。

【0069】ライセンスチケット生成部 117 は、ライセンスチケット発行要求に添付された要求元子端末 150 の端末 ID 301「PAN333」をパレンタル情報管理部 118 に通知し、端末 ID 301「PAN333」をキーとしてパレンタル情報データベース 114 内のパレンタル情報 600 を検索させる (S1105)。パレンタル情報管理部 118 による検索の結果、要求元

の子端末 150 がパレンタル情報データベース 114 に登録されていないならば (S1106)、パレンタル制御を受けない端末からの要求であるとみなし、生成されたライセンスチケット 1 を要求元の子端末 150 に送信する。ライセンスチケット 1 を受信した子端末 150 では、受信したライセンスチケット 1 をライセンスチケット蓄積部 153 に格納し (S1109)、処理を終了する。

【0070】この例では、ユーザ「江戸川子夏」の子端末 150 (端末 ID 301「PAN333」)はパレンタル情報データベース 114 に登録されているので (S1106)、パレンタル情報管理部 118 は当該子端末 150 (端末 ID 301「PAN333」)に設定されているパレンタル利用制限を抽出し、抽出したパレンタル利用制限をライセンスチケット生成部 117 に受け渡す。ライセンスチケット生成部 117 は、パレンタル情報管理部 118 から受け渡されたパレンタル利用制限を示すライセンスチケット 2 を生成する (S1107)。さらに、ライセンスチケット生成部 117 は、すでに生成したライセンスチケット 1 とライセンスチケット 2 とを統合して、1 つのライセンスチケット 3 (子供用ライセンスチケット)を生成し、要求元の子端末 150 に送信する。権利管理サーバ 110 からライセンスチケット 3 を受信した子端末 150 では、受信したライセンスチケット 3 をライセンスチケット蓄積部 153 に格納し (S1109)、処理を終了する。

【0071】図 17 (a) は、ライセンスチケット生成部 117 によって生成されるライセンスチケット 1700 のデータ構成の一例を示す図である。図 17 (b) は、子端末 150 (端末 ID 301「PAN333」)からのライセンスチケット発行要求に対して生成されるライセンスチケット 1 の具体例を示す図である。図 17 (c) は、子端末 150 (端末 ID 301「PAN333」)に設定されているパレンタル利用制限に基づいて生成されるライセンスチケット 2 の具体例を示す図である。図 17 (d) は、ライセンスチケット 1 とライセンスチケット 2 とを統合して生成されるライセンスチケット 3 の具体例を示す図である。図 17 (a) に示すように、ライセンスチケット 1700 は、大きく分けて、LT ヘッダ 1701、アクションタグブロック 1702、コンテンツ鍵 1703 および LT フッタ 1704 から構成される。LT ヘッダ 1701 は、ライセンスチケット 1700 自体を表す情報であって、LT 識別子 1705、Net DRM バージョン番号 1706、LT サイズ 1707、コンテンツ ID 422、権利情報 ID 403、LT 有効期間の開始時刻 1708、LT 有効期間の終了時刻 1709 および LT 移動許可フラグ 406 などの項目からなる。

【0072】LT 識別子 1705 には、このデータが Net DRM コンテンツ配信システムで取り扱うライセン

スケットであることを示す文字列、例えば「NDLT」が記述される。NetDRMバージョン番号1706には、このNetDRMコンテンツ配信システムのバージョン情報、例えば「10.11」が記述される。LTサイズ1707には、ライセンスチケット1700全体のデータサイズが記述される。コンテンツID422、権利情報ID403およびLT移動許可フラグ406は、図5で説明したものと同一である。また、LT有効期間の開始時刻1708およびLT有効期間の終了時刻1709は、権利情報400の有効期間開始時刻404および有効期間終了時刻405と内容的には同じ権利の有効期間を表しているが、LT有効期間の開始時刻1708とLT有効期間の終了時刻1709とは、キャンペーン期間中などに無償または割安でコンテンツの利用を許可する場合、そのライセンスチケット1700に特別の有効期間を設けるために、権利情報400の有効期間開始時刻404および有効期間終了時刻405とは異なる期間が定められてもよい。

【0073】アクションタグブロック1702は、図5の権利情報400におけるアクション情報410と同様であり、アクション情報サイズ411、アクションID412、最長利用時間413、一回判定しきい値・回数カウンタ／累積利用時間414およびプラグイン条件415などの項目から構成される。これらの各項目は、図5ですでに説明しているため、説明を省略する。コンテンツ鍵1703の項目には、コンテンツID422によって特定されるコンテンツの暗号を復号化するための復号鍵が記述される。LTフッタ1704の項目には、ライセンスチケット1700がSSLなどのセキュアな通信網以外の通信ネットワーク160を介して伝送される場合に、改ざんの有無をチェックするためのハッシュ値が記述され、このハッシュ値は、ライセンスチケット1700の先頭からLTフッタ1704の直前までの部分について計算される。

【0074】また、ライセンスチケット生成部117は、各端末からのライセンスチケット発行要求に対し、まず、要求元の端末に対するレンタル利用制限の設定の有無にかかわらず、要求元端末のユーザの権利情報400に示されたコンテンツ利用権の範囲内で、要求された分のコンテンツの利用を許可するライセンスチケット1を作成する。具体的には、レンタル利用制限が設定されている端末ID301「PAN333」の子端末150からのライセンスチケット発行要求に対しても、図17(b)のように、ユーザID203「USO817」のユーザ「江戸川子夏」に対応する権利情報ID403「10000003」の権利情報400に基づいて、要求どおりの利用分を示す通常のライセンスチケット1を生成する。すなわち、このライセンスチケット1では、レンタル利用制限が設定されている利用条件に対して、LT有効期間の開始時刻1708「2002

年05月01日09時00分」、LT有効期間の終了時刻1709「2003年04月30日09時00分」および最長利用時間413「180分」が記述されている。

【0075】次いで、ライセンスチケット生成部117は、レンタル情報管理部118から受け渡された、要求元子端末150（端末ID301「PAN333」）に設定されているレンタル利用制限を表すライセンスチケット2を生成する。具体的には、図17(c)に示すように、ライセンスチケット2には、レンタル利用制限に関する項目以外、LT識別子1705「NDLT」、LTサイズ1707「XXXXXXXXXX」およびアクション情報サイズ411「XXXXXXXXXX」など、ライセンスチケットとして形式上最低限必要な項目しか記述されない。すなわち、このライセンスチケット2が示す利用条件は、要求元子端末150に設定されているレンタル利用制限そのものであって、このライセンスチケット2だけでは実際にコンテンツを利用することはできない。ここでは、子供ユーザ「江戸川子夏」が使用する子端末150（端末ID301「PAN333」）に設定されているレンタル利用制限であるLT有効期間の開始時刻1708「2002年07月20日09時00分」、LT有効期間の終了時刻1709「2002年08月31日19時00分」および最長利用時間413「60分」が記述されている。

【0076】最後に、ライセンスチケット生成部117は、上記のようにして生成されたライセンスチケット1とライセンスチケット2との利用条件の論理積をとることによって2つのライセンスチケットを1つに統合して、子供用ライセンスチケットであるライセンスチケット3を生成する。図17(d)に示すように、ライセンスチケット3は、通常のライセンスチケットとして、これを用いてコンテンツを利用することができるが、レンタル利用制限が設定されている項目については、図17(c)のライセンスチケット2の内容が記述される。すなわち、ライセンスチケット3には、LT有効期間の開始時刻1708「2002年07月20日09時00分」、LT有効期間の終了時刻1709「2002年08月31日19時00分」および最長利用時間413「60分」が記述される。

【0077】図18(a)は、レンタル制御下の子端末150に対するライセンスチケット発行方法の一例を示す図である。図18(b)は、レンタル制御下の子端末150に対するライセンスチケット発行方法の他の例を示す図である。図18(c)は、レンタル制御下の子端末150に対するライセンスチケット発行方法のさらに他の例を示す図である。図18(a)は、図16、図17(b)、図17(c)および図17(d)を用いて説明したように、まず、権利情報400に示されるコンテンツ利用権の範囲内で、ライセンスチケット発

行要求通りの利用条件、例えば「連続利用時間 3 時間」を示す通常のライセンスチケット 1 を生成し、さらに、パレンタル利用制限のみ、例えば「連続利用時間 1 時間」を示すライセンスチケット 2 を生成した上、権利管理サーバ 110 においてライセンスチケット生成部 117 が、これらの利用条件の論理積「連続利用時間 1 時間」を取ったライセンスチケット 3 を生成し、要求元の子端末 150 に送信するというライセンスチケット発行方法を示している。このようにすれば、子端末 150 では、パレンタル利用制限の設定されたコンテンツを利用する場合でも、ライセンスチケットを解釈する機能さえ備えていれば、パレンタル利用制限を解釈するための特別な構成を必要としないため、通常の Net DRM コンテンツ再生専用端末である子端末 150 に対して、本パレンタル制御システム 100 におけるパレンタル制御を行うことができるという効果がある。

【0078】また、図 18 (b) は、上記のライセンスチケット 1 およびライセンスチケット 2 を 1 つのライセンスチケットに統合しないで、それぞれ要求元の子端末 150 に送信し、これらを受信した子端末 150 側で、これらのライセンスチケットが示すコンテンツ利用条件の論理積をとる処理を行う方法を示している。このような方法でライセンスチケットを発行した場合、ライセンスチケット 2 は、通常のライセンスチケットとデータ構成が異なるので、子端末 150 においてライセンスチケット 2 を解釈し、対応するライセンスチケット 1 との利用条件の論理積をとった上、論理積の利用条件に従ってコンテンツ再生部 156 を制御するためのライセンスチケット処理部 154 の新たな構成が必要となる。しかし、その分、ライセンスチケット生成部 117 において、ライセンスチケット 1 とライセンスチケット 2 とを統合して、さらにライセンスチケット 3 を生成するための権利管理サーバ 110 の処理負荷を軽減することができるという効果がある。

【0079】さらに、図 18 (c) は、権利管理サーバ 110 においてライセンスチケット生成部 117 が、ライセンスチケット 1 とライセンスチケット 2 とを統合してライセンスチケット 3 を生成するのであるが、生成されるライセンスチケット 3 は、通常のライセンスチケットとは異なり、ライセンスチケット 1 が示すオリジナル利用条件、例えば「連続利用時間 3 時間」の項目に、ライセンスチケット 2 が示すパレンタル利用制限、例えば「連続利用時間 1 時間」の項目を付記したものである。ここでは、「連続利用時間」の項目だけを例として説明するが、ライセンスチケット 3 には、パレンタル利用制限が設定されている全ての項目について、それぞれ対応するパレンタル利用制限が付記される。このように生成されたライセンスチケット 3 を受信した子端末 150 ではライセンスチケット処理部 154 が、ライセンスチケット 3 内の同一のコンテンツ利用条件の項目について、

パラメータが 2 つある場合にはそれらの論理積をとり、その論理積に従ってコンテンツ再生部 156 の再生を制御する。

【0080】なお、ここでは、ライセンスチケット 1 が示すオリジナル利用条件の各項目に、ライセンスチケット 2 が示すパレンタル利用制限の対応する項目を付記したライセンスチケット 3 を生成するとしたが、さらに別の方法として、単にライセンスチケット 1 の末尾にライセンスチケット 2 を結合して、ライセンスチケット 3 を生成し、子端末 150 に送信するとしてもよい。図 19 は、ライセンスチケット 1 とライセンスチケット 2 とが結合されたライセンスチケット 3 を受信したユーザ「江戸川子夏」の子端末 150 がコンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ (第 1 巻)」を利用する場合の子端末 150 各部の処理手順を示すフローチャートである。ライセンスチケット処理部 154 は、ユーザ「江戸川子夏」による子端末 150 の図示しない入力操作部から入力されたコンテンツ再生指示に応じ、ライセンスチケット蓄積部 153 からライセンスチケット 3 を取得し (S1201)、ライセンスチケット 1 の末尾に結合されているライセンスチケット 2 を解釈してコンテンツの再生が許可されているか否かを判定する (S1202)。

【0081】ライセンスチケット処理部 154 は、ライセンスチケット 2 を解釈した結果、コンテンツの再生が許可されていない場合 (S1203)、例えばライセンスチケット 2 に示されるパレンタル利用制限において、コンテンツの利用を禁止するフラグが立てられていたり、ライセンスチケットの有効期間が過ぎていたりする場合には、子端末 150 の液晶表示パネルなどに、例えば「このコンテンツを利用することはできません」という表示文を表示して処理を終了する。例えば、子供ユーザ「江戸川子夏」が夏休み前の 2002 年 05 月 05 日に、コンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ (第 1 巻)」を利用するためのライセンスチケット発行要求をしたとすると、ライセンスチケット 2 では LT 有効期間の開始時刻 1708 が「2002 (年) 07 (月) 20 (日) 09 (時) 00 (分)」であるので、ライセンスチケット 3 の有効期間が開始していないことになり、ライセンスチケット処理部 154 は、コンテンツの再生が許可されていないと判定する。この判定の結果、ライセンスチケット処理部 154 は、「このコンテンツを利用することはできません」という表示文を表示して処理を終了する。

【0082】ライセンスチケット 2 を解釈した結果、再生指示されたコンテンツの再生が許可されている場合 (S1203)、ライセンスチケット処理部 154 は、さらにライセンスチケット 1 を解釈して (S1204)、コンテンツの再生が許可されているか否かを判定する (S1205)。コンテンツの再生が許可されていない場合は、ステップ S1203 でコンテンツの再生が

許可されていない場合と同様の処理をして終了する。ライセンスチケット1を解釈した結果、再生指示されたコンテンツの再生が許可されている場合(S1205)、ライセンスチケット処理部154は、コンテンツ再生部156にコンテンツの再生を許可する。コンテンツ再生部156は、コンテンツ蓄積部155からコンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ(第1巻)」を取得し、取得したコンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ(第1巻)」を、ライセンスチケット1に含まれているコンテンツ鍵を用いて復号化し再生する(S1206)。なお、コンテンツの再生とは、コンテンツの印刷、表示および外部メディアへの書き出しも含む。

【0083】ライセンスチケット処理部154は、一定時間おきにコンテンツ再生部156によるコンテンツの再生が継続されているか否かを確認し(S1207)、継続されている場合には、再びライセンスチケット2を解釈してコンテンツの再生が許可されているか否かを判定する(S1202)。ライセンスチケット2を解釈した結果、その時点でのコンテンツの再生状態に応じて、コンテンツの再生が許可されていれば(S1203)、さらにライセンスチケット1を解釈し(S1204)、その時点でコンテンツの再生が許可されているか否かを判定する(S1205)。

【0084】ライセンスチケット2を解釈した結果(S1202)、その時点でのコンテンツの再生状態に応じて、コンテンツの再生が許可されていなければ(S1203)、子端末150の表示画面に表示文を表示して処理を終了する。例えば、子供ユーザ「江戸川子夏」が夏休み中の2002年08月15日に、コンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ(第1巻)」を利用するためのライセンスチケット発行要求をし、ライセンスチケット2およびライセンスチケット1に従って、コンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ(第1巻)」の再生が許可された場合でも、コンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ(第1巻)」の再生が1時間を経過すると、ライセンスチケット処理部154は、ライセンスチケット2の最長利用時間413が「60(分)」であるので、コンテンツ再生部156のコンテンツ再生処理を停止させ、「このコンテンツを利用することはできません」という表示文を表示して処理を終了する。

【0085】ライセンスチケット1を解釈した結果(S1204)、その時点でのコンテンツの再生が許可されていれば(S1205)、ライセンスチケット処理部154は、コンテンツ再生部156によるコンテンツの再生を、さらに継続させる(S1206)。このように、ライセンスチケット処理部154が、コンテンツ再生部156によるコンテンツの再生状態を監視し、ライセンスチケット1およびライセンスチケット2と照合しながら一定時間おきにコンテンツ再生部156を制御するので、子端末150は、親ユーザによって設定された子端

末150のバレンタル利用制限に忠実に従ってコンテンツの再生を行うことができる。

【0086】図20は、図8の処理手順に従ってすでに登録されている端末ID301「PAN333」の子端末150について、親ユーザ「江戸川長春」氏が登録を解除する際の処理手順を示すフローチャートである。例えば、親ユーザ「江戸川長春」氏は、高校に入学した長女「江戸川子夏」に対して、バレンタル利用制限を解除することにした。「江戸川長春」氏は、長女「江戸川子夏」の子端末150から権利管理サーバ110に接続し、当該子端末150のバレンタル端末登録解除要求を送信する。図21は、子端末150からのバレンタル端末登録解除要求に対して子端末150に表示されるバレンタル端末登録解除画面2100の一例を示す図である。図21に示すように、バレンタル端末登録解除画面2100には表示文2101「この端末のバレンタル制御を解除します」と、バレンタル端末登録解除画面2100への入力を案内する案内文2102「ユーザIDとパスワードを入力してください。」とが表示され、案内文2102の下に、ユーザID入力枠904とパスワード入力枠905とOKボタン906とが表示されている。ユーザID入力枠904、パスワード入力枠905およびOKボタン906の機能は、図9で説明したものと同様である。親ユーザ「江戸川長春」氏が、ユーザID入力枠904とパスワード入力枠905とに認証情報610である認証用ユーザID217「DRM27439」とパスワード218「NA*1*SHO」とを正しく入力し、OKボタン906を押下すると(S901)、通信部152は、子端末150の端末ID301「PAN333」を内部のROMなどから読み出して(S902)、バレンタル端末登録解除画面2100に入力された認証情報610からなるバレンタル端末登録解除要求に添付し権利管理サーバ110に送信する。

【0087】このバレンタル端末登録解除要求を受信した権利管理サーバ110において、バレンタル情報管理部118は、バレンタル情報データベース114のバレンタル情報600を、認証情報610「DRM27439/NA*1*SHO」をキーとして検索し、認証情報610がこのキーに一致するバレンタル情報600があれば、さらにそのバレンタル情報600のうち、端末ID301「PAN333」に対応するバレンタル情報600を探し、該当するバレンタル情報600をすべてバレンタル情報データベース114から削除する(S903)。バレンタル情報管理部118は、当該子端末150(端末ID301「PAN333」)のバレンタル端末登録を解除した旨を子端末150に通知して処理を終了する。一方、バレンタル情報データベース114内に、認証情報610がキーに一致するバレンタル情報600がない場合、または端末ID301「PAN333」に対応するバレンタル情報600がない場合には、

該当する子端末 150 が登録されていない旨を子端末 150 に通知して処理を終了する。

【0088】 以上のように、本実施の形態 1 のパレンタル制御システム 100 によれば、NetDRM コンテンツ配信システムにおけるコンテンツ利用権を集中管理している権利管理サーバ 110 がパレンタル情報 600 を保持し、パレンタル利用制限を付加した子供用ライセンスチケットを生成して、要求元の子端末 150 に返送するので、権利管理サーバ 110 が管理している権利情報 400 内の利用条件を拡張したり縮小したりするだけでパレンタル利用制限を簡単に修正および追加拡張することができる。したがって、権利管理サーバ 110 は、権利情報 400 およびライセンスチケットに対して多様な方法でパレンタル利用制限を付加することができるとともに、パレンタル制御システム 100 における子端末 150 の負荷を抑制し、子端末 150 を簡単な構成で実現することができるという効果がある。さらに、子端末 150 のライセンスチケット処理部 154 は、一定時間ごとに、コンテンツ再生部 156 のコンテンツ再生状況を監視し、ライセンスチケットの利用条件と照合するので、継続的にコンテンツの再生が行われる場合であっても、ライセンスチケットの利用条件に忠実にしたがってコンテンツ再生部 156 のコンテンツ再生処理を制御することができるという効果がある。

【0089】 また、本実施の形態 1 のパレンタル制御システム 100 によれば、例えばあらかじめ親ユーザが、パレンタル情報 600 内に子端末 150 からのライセンスチケット発行要求に対して一定時間、ライセンスチケット生成部 117 によるライセンスチケットの発行を遅らせ、親端末 140 または親ユーザからのパレンタル利用制限設定要求を待機しておくための待機時間などを設定しておけば、それによって、子供ユーザがライセンスチケット発行要求をしてから、対応するライセンスチケットを受信するまでの間に、親ユーザが権利管理サーバ 110 にアクセスし、子供が発行要求しているライセンスチケットにパレンタル利用制限を設定することができる。また、このようにしておけば、親ユーザは、子供ユーザが発行要求したライセンスチケットの発行を途中で取り消したり、要求した利用回数や利用時間を修正したりすることができるという効果がある。

【0090】 さらに、上記実施の形態 1 においては、権利管理サーバ 110 のライセンスチケット生成部 117 が、ライセンスチケットに対してパレンタル情報 600 に基づく利用制限を付加する方法によって、子端末 150 にコンテンツの利用制限を課したが、それ以外の方法によって、利用制限を課してもよい。例えば、パレンタル制御システム 100 内の親端末 140 と権利管理サーバ 110 との間、および権利管理サーバ 110 と子端末 150 との間に、あらかじめ子端末 150 のコンテンツ再生部 156 の再生を停止させる信号もしくはコマンド

等を定めておき、親ユーザが親端末 140 からこれらを入力することによって、権利管理サーバ 110 を介してコンテンツ再生部 156 の再生を一時停止、または中止させるようにしてもよい。

【0091】 なお、上記本実施の形態においては、パレンタル利用制限が設定されている子端末 150 からのライセンスチケット発行要求に対し、権利管理サーバ 110 は、元の権利情報 400 から差し引かれる分の、本来、子端末 150 において利用できる権利を子端末 150 に行使させず、制限の設けられた利用分しかコンテンツを利用させない。したがって権利管理サーバ 110 は、これに対し、各ユーザのコンテンツ利用に関する履歴を権利管理サーバ 110 内に蓄積しておき、当該子端末 150 のユーザおよびその親ユーザやクレジットカード番号 219 が同一である他の子端末 150 のコンテンツ利用量に応じて、例えば、前記子端末 150 のユーザの家族全体で 1 ヶ月間のコンテンツの利用量が一定の金額を超える場合などに、子端末 150 からのライセンスチケット発行要求が、当該子供ユーザの権利情報 400 に対応するコンテンツ利用権の範囲を超えている場合であっても、パレンタル利用制限の範囲内であれば、利用量に応じて定められた範囲内の追加ライセンスチケットを、子端末 150 に対するお得意様サービスとして発行するようにしてもよい。

【0092】 なお、上記本実施の形態においては、暗号化されたコンテンツは、通信ネットワーク 160 上で配信サーバ 130 から随時受信できるものとし、あらかじめコンテンツを受信したユーザがコンテンツ蓄積部 155 に蓄積しておき、実際にそのコンテンツを利用しようとした段階で、そのコンテンツのライセンスチケットを購入する場合について説明したが、本発明のパレンタル制御システムは上記実施の形態に限定されず、コンテンツがストリーム再生コンテンツやオンラインゲームなどの場合、コンテンツの配信に先立って、または、並行して、権利管理サーバ 110 がライセンスチケットを動的に発行するようにしてもよい。

【0093】 なお、上記本実施の形態において、ユーザ情報管理部 115 は、パレンタル端末登録要求があった際に、パレンタル端末登録要求に含まれている認証情報 610 を用いて認証を行った上、さらに、当該パレンタル端末登録要求によって登録される子端末 150 のクレジットカード番号 219 と、認証情報 610 が登録されている親ユーザのクレジットカード番号 219 とを照合して、当該子端末 150 のユーザと、パレンタル端末登録を要求したユーザとの親子関係を確認したが、この親子関係の確認は必ずしも行わなくてもよい。すなわち、認証情報 610 による認証だけで、子端末 150 のパレンタル端末登録を行うようにしてもよい。このようにする場合、パレンタル端末登録要求の前に行った、子端末 150 の端末情報データベース 112 への端末登録、子

供ユーザのユーザデータベース 111 へのユーザ登録および子供ユーザへのコンテンツ利用権の購入なども省略してよい。

【0094】また、上記本実施の形態においては、パレンタル情報データベース 114 に端末 ID 301 が登録されていない子端末 150 からのライセンスチケット発行要求に対し、ライセンスチケット生成部 117 は、パレンタル利用制限が設定されていない大人と同様のライセンスチケットを生成して子端末 150 に送信するとしたが、必ずしもこれに限定されず、例えば、ユーザ情報 200 に認証用ユーザ ID 217 およびパスワード 218 が登録されていない端末は、すべて子端末 150 であるとして、ライセンスチケット発行処理を中断してライセンスチケットを発行しないようにしてもよい。また、パレンタル情報データベース 114 に端末 ID 301 だけが登録され、パレンタル利用制限が設定されていない子端末 150 に対し、本実施の形態では、大人と同様のライセンスチケットを生成して子端末 150 に送信するとしたが、この場合も、このこと（パレンタル情報データベース 114 に端末 ID 301 だけを登録すること）を、当該子端末 150 によるコンテンツの利用を一切禁止する意味のパレンタル情報 600 と解して、当該子端末 150 に一切ライセンスチケットを発行しないような設定としてもよい。

【0095】なお、上記本実施の形態において、各子端末 150 は、一台につき特定のユーザが使用することを前提としたが、本発明のパレンタル制御システムは上記実施の形態に限定されず、一台の子端末 150 を複数の子供が使用する場合には、子端末 150 の要求部 151 はエントリごとに、メニュー画面などによって認証用ユーザ ID 217 の入力を求め、各ライセンスチケット発行要求に子端末 150 の端末 ID 301 および入力された認証用ユーザ ID 217 を含めて送信するようにしてもよい。この場合、パレンタル情報管理部 118 は、パレンタル情報データベース 114 内のパレンタル情報 600 を端末 ID 301 ごとに、さらに各ユーザの認証用ユーザ ID 217 ごとに作成および管理し、端末 ID 301 によって特定されたパレンタル情報 600 の中から、ライセンスチケット発行要求に含まれた認証用ユーザ ID 217 に対応するパレンタル情報 600 を読み出し、読み出したパレンタル情報 600 による利用制限をライセンスチケット生成部 117 に受け渡すものとする。

【0096】なお、上記実施の形態において、親ユーザが子端末 150 にパレンタル利用制限を設定する認証情報 610 として、認証用ユーザ ID 217 およびパスワード 218 とを用いたが、本発明はこれに限定されず、いずれか一方だけを用いてもよいし、親端末 140 の端末 ID 301 を用いて認証してもよいし、さらには、任意のシステムが生成した特定の情報を用いて認証しても

よい。

【0097】また、図 10 に示したフローチャートにおいて、親ユーザによる認証、パレンタル利用制限が設定される子端末 150 の選択、パレンタル利用制限が設定されるコンテンツグループの選択、パレンタル利用制限の設定という手順で、親ユーザによるパレンタル利用制限設定処理を行うと説明したが、この処理手順はこの通りでなくてもよいし、親ユーザが各子端末 150 の端末 ID 301 や、どの子端末 150 でどのような権利情報 400 が使用されるかなどをあらかじめ知っている場合には、権利管理サーバ 110 からのパレンタル利用制限設定画面に従って入力を行わず、別の入力画面から端末 ID 301、権利情報 ID 403、コンテンツ ID 422 などを直接入力するようにしてもよい。

【0098】さらに、図 19 に示したフローチャートにおいて、子端末 150 によるコンテンツ利用の処理手順として、まず、ライセンスチケット 2 を解釈し、次にライセンスチケット 1 を解釈すると説明したが、本発明はこれに限定されず、まずライセンスチケット 1 を解釈した後でライセンスチケット 2 を解釈するとしてもよい。

【0099】また、子端末 150 は、権利管理サーバ 110 から受信したライセンスチケットを一旦、ライセンスチケット蓄積部 153 に格納すると説明したが、本発明はこれに限定されず、権利管理サーバ 110 から取得した後、すぐにこれを解釈し、コンテンツの再生を開始するようにしてもよい。

【0100】さらに、本実施の形態においてライセンスチケット生成部 117 は、子端末 150 からのライセンスチケット発行要求に対して、パレンタル情報管理部 118 から受け渡されたパレンタル利用制限を解釈せず、何らかの処理をするとしても、互いに対応する利用条件同士の論理積を求めて、論理積の利用条件を示したライセンスチケット 3 を生成する程度である。しかし、本発明はこれに限定されず、ライセンスチケット生成部 117 は、パレンタル情報管理部 118 から受け渡されたパレンタル利用制限を解釈し、ライセンスチケット発行要求を受けたライセンスチケットが、対応するコンテンツグループの再生を許可しない場合には、ライセンスチケットを生成せず、当該コンテンツの再生が許可されていない旨の通知だけを、子端末 150 に送信するようにしてもよい。また、ライセンスチケット生成部 117 は、ライセンスチケット 1 を生成した後に、パレンタル情報管理部 118 から受け渡されたパレンタル利用制限を解釈し、対応する利用条件同士の論理積をとった場合、あるいはその他、有効期限切れや利用が禁止された成人用コンテンツの場合で、対応するコンテンツの再生が許可されない場合に、生成したライセンスチケット 1 を破棄するとしてもよい。

【0101】なお、本実施の形態において、親ユーザが設定したパレンタル利用制限は、すべてライセンスチケ

ット 2 に記述されるように説明したが、本発明はこれに限定されず、ライセンスチケットに記述されるバレンタル利用制限はコンテンツの利用の可否を示す情報および回数や利用時間などの補助情報のみで構成されるようにしてもよい。この場合、親ユーザがカスタマイズして設定した複雑なバレンタル利用制限については、その有無を示すフラグなどをライセンスチケットに記述しておき、ライセンスチケットにカスタマイズされたバレンタル利用制限が設定されていることが示されている場合には、子端末 1 5 0 が随時、権利管理サーバ 1 1 0 にアクセスして問い合わせを行い、問い合わせに対する回答であるバレンタル利用制限をさらに解釈して、コンテンツの利用の可否を判定するようにしてもよい。

【 0 1 0 2 】また、本実施の形態において、ライセンスチケット 1 とライセンスチケット 2 とが矛盾しない論理積の求められる利用条件を示している場合について説明したが、本発明はこれに限定されず、ライセンスチケット 1 とライセンスチケット 2 とが矛盾した内容である場合でも、矛盾した場合にいずれの利用条件を採用するかを示す優先順位をあらかじめ決めておいてもよい。

【 0 1 0 3 】（実施の形態 2）以下、本発明の第 2 の実施形態について図面を用いて詳細に説明する。図 2 2 は、本発明の第 2 の実施形態に係る一時利用制限システム 2 2 0 0 の構成を示すブロック図である。なお、同図において、図 1 に示した実施の形態 1 のバレンタル制御システム 1 0 0 と同じ構成要素については同一の参照符号を付し、説明を省略する。また、同図において、汎用端末 1 4 0 および専用端末 1 5 0 は、それぞれ図 1 の親端末 1 4 0 および子端末 1 5 0 と同じ構成であるので、同一の参照符号を付し、説明を省略する。一時利用制限システム 2 2 0 0 は、1 つの端末に対して複数ユーザの登録を許可する Net DRM コンテンツ配信システムであって、権利管理サーバ 2 2 1 0、配信サーバ 1 3 0、汎用端末 1 4 0、専用端末 1 5 0 および通信ネットワーク 1 6 0 から構成される。なお、本実施の形態の一時利用制限システム 2 2 0 0 においては、各端末を使用するユーザに親子の区別がない上、汎用端末 1 4 0 と専用端末 1 5 0 との間に機能の差はないので、以下では、各ユーザが専用端末 1 5 0 を使用するものとして説明する。

【 0 1 0 4 】権利管理サーバ 2 2 1 0 は、Net DRM コンテンツ配信システムにおけるライセンスを集中管理し、ユーザが自分用に登録した端末を一時的に他人に使用させる場合に、他人によるコンテンツの利用に制限を加えるサーバであって、ユーザデータベース 1 1 1、端末情報データベース 1 1 2、コンテンツ利用権利データベース 1 1 3、一時利用制限データベース 2 2 1 4、ユーザ情報管理部 2 2 1 5、端末情報管理部 2 2 1 6、ライセンスチケット生成部 2 2 1 7、一時利用制限管理部 2 2 1 8、通信部 1 1 9 およびバス 1 2 0 を備える。

【 0 1 0 5 】一時利用制限データベース 2 2 1 4 は、ユ 50

ーザによる一時利用制限設定要求に従って一時利用制限管理部 2 2 1 8 によって生成された、一時ユーザのコンテンツ利用に対する一時利用制限を、当該一時利用制限データベース 2 2 1 4 内にあらかじめ登録されている専用端末 1 5 0 の端末 ID および一時ユーザのユーザ ID ごとに記憶する。ユーザ情報管理部 2 2 1 5 は、実施の形態 1 のユーザ情報管理部 1 1 5 と異なり、権利管理サーバ 2 2 1 0 に要求を送信するすべてのユーザについて認証処理を行い、ユーザ登録する全てのユーザについ

て、権利管理サーバ 2 2 1 0 による認証を受けるための認証情報 6 1 0（認証用ユーザ ID 2 1 7 およびパスワード 2 1 8）の登録を受け付ける。ユーザ情報管理部 2 2 1 5 は、さらに、一時利用制限管理部 2 2 1 8 からの通知に従って、認証情報 6 1 0 または認証用ユーザ ID 2 1 7 からユーザを特定し、特定されたユーザのユーザ ID 2 0 3 を一時利用制限管理部 2 2 1 8 に通知する。

【 0 1 0 6 】端末情報管理部 2 2 1 6 は、一時利用制限管理部 2 2 1 8 からの一時ユーザ登録指示または一時ユーザ登録抹消指示に従って、端末情報 3 0 0 内の端末 ID 3 0 1 に一時ユーザのユーザ ID 2 0 3 を対応付けて登録し、または端末情報 3 0 0 内の端末 ID 3 0 1 に対応付けられた一時ユーザのユーザ ID 2 0 3 を抹消する。また、端末情報管理部 2 2 1 6 は、通信部 1 1 9 において受信された各種要求に添付されている端末 ID 3 0 1 から、端末情報 3 0 0 に登録されているユーザを特定する。ライセンスチケット生成部 2 2 1 7 は、複数のユーザが登録されている端末から、ライセンスチケットの発行根拠となる権利情報 4 0 0 の所有者を特定しないライセンスチケット発行要求を受けた場合、端末情報 3 0 0 において 1 つの端末 ID 3 0 1 に対応付けられている複数のユーザ ID 2 0 3 に対応する権利情報 4 0 0 の中から、要求されたコンテンツの利用を許可する権利情報 4 0 0 を特定し、特定された権利情報 4 0 0 が複数ある場合には、さらに、それぞれの権利の所有者のユーザ名およびコンテンツ利用可能残高などを専用端末 1 5 0 の画面に表示させ、特定された権利情報 4 0 0 のいずれか 1 つをユーザに選択させる。一方、複数のユーザが登録されている端末から、認証情報 6 1 0 によって権利情報 4 0 0 の所有者を特定したライセンスチケット発行要求を受けた場合、ライセンスチケット生成部 2 2 1 7 は、要求元の専用端末 1 5 0 に対し、認証情報 6 1 0 によって特定されるユーザの権利情報 4 0 0 に基づいてライセンスチケットを生成する。ライセンスチケット生成部 2 2 1 7 は、一時利用制限管理部 2 2 1 8 からの通知により、一時利用制限データベース 2 2 1 4 に登録されている一時ユーザからのライセンスチケット発行要求に対し、一時利用制限データベース 2 2 1 4 に登録されている一時利用制限を付加したライセンスチケットを発行する。

【 0 1 0 7 】一時利用制限管理部 2 2 1 8 は、通信部 1

19において受信されたユーザからの各種要求につき、当該要求に添付されている端末ID301を用いて、一時利用制限データベース2214を検索し、要求元の専用端末150が一時利用制限データベース2214に登録されている専用端末150であるか否かを判定する。要求元の専用端末150が一時利用制限データベース2214に登録されている専用端末150であれば、前記各要求に含まれている認証情報610からユーザを特定する。特定されたユーザが一時ユーザであれば、要求の内容が一時利用制限によって許可されている要求であるか否かを判定し、許可されている場合には対応する各部に要求に応じるよう通知する。許可されていない場合には、要求に応じられない旨の通知を通信部119に送信させ、当該要求に対応する権利管理サーバ2210における処理を終了する。要求元の専用端末150が一時利用制限データベース2214に登録されている専用端末150でないか、または、一時ユーザでない場合、要求に回答する通常の処理を行う。

【0108】一時利用制限管理部2218は、一時利用制限によって当該要求を禁止されていないユーザから、一時ユーザ登録要求があると、対話的に当該ユーザからの入力を受け付けて、当該端末に対する一時ユーザの登録を行う。具体的には、一時利用制限によって当該要求を禁止されていないユーザから一時ユーザ登録要求があると、一時利用制限管理部2218は、対話画面によって、要求元の専用端末150に、一時ユーザとなるユーザの認証用ユーザID217の入力を求め、要求元の専用端末150から一時ユーザの認証用ユーザID217を受信すると、これをユーザ情報管理部2215に通知してその一時ユーザのユーザID203を特定させる。次いで、端末情報管理部2216に、特定されたユーザID203を通知し、要求に添付された端末ID301に対応付けて一時ユーザのユーザID203を端末情報300に登録するよう指示する。さらに、一時利用制限によって許可されている要求が、例えばライセンスチケット発行要求である場合、要求元が一時ユーザである旨をライセンスチケット生成部2217に通知し、さらに、当該一時ユーザに設定されている一時利用制限をライセンスチケット生成部2217に通知する。

【0109】図23は、図22に示した一時利用制限データベース2214に格納される一時利用制限2300のデータ構成の一例を示す図である。図のように、一時利用制限データベース2214には、一時利用制限2300が、専用端末150の端末ID301と、一時ユーザのユーザID2310と、権利所有者のユーザID2311とに対応付けて格納される。一時利用制限2300は、さらに、当該専用端末150で利用することができる権利情報400の権利情報ID403ごとに記述される。このように一時利用制限2300は、権利所有者のユーザID2311とに対応付けて格納されているの

で、権利所有者のユーザごとに設定することもできるし、さらに詳細に、権利情報400ごとに設定することもできるようになっている。また、ここでは、権利有効期限2303として一時ユーザが利用できる権利の有効期間開始時刻404までは限定せず、単に、権利の有効期間の終了年月日までを設定しているが、図6に示したバレンタル情報600と同様に開始と終了とにつき、時刻まで設定してもよい。

【0110】一時利用制限2300には、さらに図6に示したバレンタル情報600と同様の項目を設定できる他、端末操作制限2301および端末登録期限2302などの項目が追加される。端末操作制限2301には、本来のユーザが一時ユーザに許可してもよい要求を特定するための要求IDが記述される。これは、専用端末150の本来のユーザであれば自分の専用端末150から自由に要求できた方が好ましいが、本人以外のユーザに自由にされては困る要求に対して、権利管理サーバ110が応答して実行してしまうことを防止するために設けられる。本人以外のユーザに自由にされては困る要求とは、例えば、権利の移転（権利の返却および譲渡など）に関する要求などである。端末登録期限2302には、端末情報データベース112内の端末情報300に当該一時ユーザを登録しておく期限が記述される。これにより、端末登録期限2302に記述されている期限が過ぎると、端末情報データベース112内の端末情報300に登録されている一時ユーザのユーザID2310が削除され、また、一時利用制限データベース2214に登録されている当該端末ID301と一時ユーザのユーザID2310とに対応した一時利用制限2300も併せて削除される。

【0111】図24は、ユーザが一時ユーザに対して一時利用制限を設定する際の処理手順を示す図である。具体例として、NetDRMコンテンツ配信システムのユーザである自分「江戸村早紀」の家に、同じくNetDRMコンテンツ配信システムのユーザである友人「磯島のり子」が連休に泊まりに来て、2人で同時にコンテンツをプレイする場合について説明する。「江戸村早紀」は、自分用の専用端末150として端末1（端末ID301「PAN1」）および端末2（端末ID301「PAN2」）を端末情報データベース112に登録し、コンテンツ利用権利データベース113内に権利情報ID403「101」および権利情報ID403「102」の権利を所有している。さらに、ユーザデータベース111に自分の認証情報610として認証用ユーザID217「HINOYOJN」、パスワード218「HI_MI_TU」を登録している。一方、友人「磯島のり子」は、コンテンツ利用権利データベース113に権利情報ID403「103」および権利情報ID403「104」の権利を所有しており、認証情報610として認証用ユーザID217「KAGIKKO1」および

パスワード 218「OSHIENA1」をユーザデータベース 111 に登録している。自分と友人とは、同じコンテンツ「オンラインゲーム バナリス」の利用権である権利情報 ID 403「102」の権利と権利情報 ID 403「103」の権利とをそれぞれ所有しているの
で、自分用に登録してある端末 2 を友人に使用させ、友人は、友人の所有している権利情報 ID 403「103」の権利を使って、一緒にコンテンツ「オンラインゲーム バナリス」をプレイすることにする。

【0112】自分はまず、端末 2 の初期画面で「一時ユーザ登録」というボタンを選択し、次に表示される画面で、認証用ユーザ ID 217「HINOYOJN」とパスワード 218「HI__MI__TU」とを入力する。図 25 は、初期画面で選択された一時ユーザ登録要求に対して表示される入力画面 2500 の一例を示す図である。図のように、この入力画面 2500 には、一時ユーザを「登録する」または「登録しない」のいずれかを選択するためのチェックボタン 2501 とチェックボタン 2502 とが表示されており、その下に、ユーザ ID 入力枠 904 とパスワード入力枠 905 と OK ボタン 906 とが表示されている。ユーザ ID 入力枠 904、パスワード入力枠 905 および OK ボタン 906 の機能は、図 9 で説明したものと同様である。ここでは、ユーザ ID 入力枠 904 に自分「江戸村早紀」の認証用ユーザ ID 217「HINOYOJN」が記入され、パスワード入力枠 905 に同じく「江戸村早紀」のパスワード 218「HI__MI__TU」が記入されている。また、「登録する」を選択するためのチェックボタン 2501 にチェックが入れている。

【0113】この後、自分「江戸村早紀」が画面内の OK ボタン 906 を押すと、端末 2 の内部から端末 ID 301「PAN2」が自動的に読み出されて、一時ユーザ登録要求とともに権利管理サーバ 2210 に送信される。これを受信した権利管理サーバ 2210 では、一時利用制限管理部 2218 が、端末 ID 301「PAN2」を用いて一時利用制限データベース 2214 を検索し、端末 2 が一時利用制限データベース 2214 に登録されているか否かを調べる。調べた結果、端末 ID 301「PAN2」の端末 2 は、まだ、一時利用制限データベース 2214 に登録されていないことが分かる。また、自分「江戸村早紀」の認証情報 610（認証用ユーザ ID 217「HINOYOJN」およびパスワード 218「HI__MI__TU」）から、ユーザ情報管理部 2215 によって、自分「江戸村早紀」のユーザ ID 203「USO450」が特定され、端末情報管理部 2216 によって特定されたユーザ ID 203「USO450」と一致することが確認される。これによって、自分「江戸村早紀」が端末 ID 301「PAN2」の端末 2 に登録されている、正当な権利を有するユーザであると認証されるので、一時利用制限管理部 2218 は、端末

2 からの一時ユーザ登録要求を受け付ける。権利管理サーバ 2210 は、要求元の端末 2 に次の入力画面を送信し、一時ユーザの認証用ユーザ ID 217 の入力进行を要求する。図 26 は、一時ユーザ登録要求に対して、一時ユーザを特定するためのユーザ ID の入力进行を要求する入力画面 2600 の一例を示す図である。図のように入力画面 2600 には、現在、端末 2 に自分「江戸村早紀」が登録されていることが報告され、さらに、一時ユーザとして登録したいユーザを特定するための認証用ユーザ ID 217 の入力进行を要求するユーザ ID 入力枠 904 が表示されている。

【0114】自分「江戸村早紀」は、友人「磯島のり子」から聞いた友人「磯島のり子」の認証用ユーザ ID 217「KAGIKKO1」を入力した上、OK ボタン 906 を押して入力内容を権利管理サーバ 2210 に送信する。これを受信した権利管理サーバ 2210 では、友人の認証用ユーザ ID 217「KAGIKKO1」から友人のユーザ ID 203「USO086」を特定し、端末 2 に対して、特定されたユーザの氏名 212 を表記した確認画面を送信する。図 27 は、認証用ユーザ ID 217 の入力によって特定された一時ユーザを確認する確認画面 2700 の一例を示す図である。確認画面 2700 では、「この端末に一時ユーザ『磯島のり子』さんを登録します。よろしいですか？」という確認文が表示されるので、自分は友人の名前を確認した上、OK ボタン 906 を押し、権利管理サーバ 2210 に送信する。権利管理サーバ 2210 では、端末情報管理部 2216 が端末情報データベース 112 内の端末情報 300 に、端末 ID 301「PAN2」に対応付けて友人のユーザ ID 203「USO086」を登録し、一時利用制限管理部 2218 が一時利用制限データベース 2214 に端末 ID 301「PAN2」とユーザ ID 203「USO086」とを登録する。

【0115】さらに、権利管理サーバ 2210 において、一時利用制限管理部 2218 は、端末情報管理部 2216 に端末 ID 301「PAN2」を通知して、端末 ID 301「PAN2」に対応付けられているすべてのユーザ ID 203 を特定させ、特定されたすべてのユーザ ID 203 に対応付けられている権利情報 400 の権利情報 ID 403 をライセンスチケット生成部 2217 に検索させる。一時利用制限管理部 2218 は、ライセンスチケット生成部 2217 の検索結果である権利情報 ID 403 を、権利所有者のユーザ ID 203 ごとに一時利用制限データベース 2214 内の対応箇所に登録する。

【0116】図 28 は、一時ユーザの登録結果をユーザに表示し、一時ユーザ登録の登録期限の設定を受け付ける入力画面 2800 の一例を示す図である。図のように、権利管理サーバ 2210 はさらに、端末 2 に対して、案内文 2801「この端末に一時ユーザ『磯島のり

子』さんを登録しました。一時ユーザの登録には、期限を設定できます。」と、入力枠 2802「登録期限：□□□年□□月□□日まで」とが表示された入力画面 2800 を送信する。ここで例えば、友人「磯島のり子」が連休の終わる 5 月 6 日に帰る予定であるとする、入力枠「登録期限：□□□年□□月□□日まで」の空欄部分に、順次「20020506」を入力して OK ボタン 906 を押すと、入力画面 2800 への入力内容である登録期限「20020506」が権利管理サーバ 2210 に送信される。ここで入力された登録期限「20020506」は、一時利用制限データベース 2214 内の端末 ID 301「PAN2」と一時ユーザのユーザ ID 2310 とに対応するすべての一時利用制限 2300 の端末登録期限 2302 の項目に記述される。

【0117】次いで、権利管理サーバ 2210 は、端末 2 に対し、一時ユーザの端末操作に対する制限を設定するための入力画面を送信する。図 29 は、一時ユーザの端末操作に対する制限を設定するための入力画面 2900 の一例を示す図である。図のように入力画面 2900 には、「一時ユーザの端末操作には制限を設定することができます。」という案内文 2901 と、サーバ側であらかじめ設定された端末操作制限の候補の一覧を表示してその中の 1 つを選択させる選択入力枠 2902 とが表示されている。端末操作制限の候補の一覧には、「権利の購入を許可する」、「権利の移動も許可する」および「コンテンツの利用のみ許可する」などの候補が表示される。これらの各候補には、それぞれ、一時ユーザの端末操作制限に対応した処理の ID が対応付けられており、自分「江戸村早紀」が、この一覧から「コンテンツの利用のみ許可する」を選択して OK ボタン 906 を押すと、端末 2 からは、これに対応する処理の ID が権利管理サーバ 2210 に送信される。

【0118】入力画面 2900 において選択入力された ID を受信した権利管理サーバ 2210 では、一時利用制限管理部 2218 が、一時利用制限データベース 2214 内の端末 ID 301「PAN2」と一時ユーザのユーザ ID 2310 とに対応するすべての一時利用制限 2300 の端末操作制限 2301 の項目に、「ライセンスチケット発行要求のみ」を受け付ける旨の ID を記入する。さらに、一時利用制限管理部 2218 は、端末 ID 301「PAN2」に登録されているユーザがそれぞれ所有している権利を、列記してユーザに表示し、一時ユーザによるこれらの権利の利用に対して利用制限を設定するか否かを問い合わせる入力画面を作成し、端末 2 に送信する。図 30 は、一時ユーザによる権利の利用に対する利用制限の設定を問い合わせる入力画面 3000 の一例を示す図である。図のように、入力画面 3000 には、案内文 3001「この端末から次のコンテンツ利用権を使うことができます。利用制限を設けますか？」と、一時ユーザが端末 2 を使って利用することができる

コンテンツ（権利）と、その利用残高とが、各権利所有者に対応付けて列記された権利一覧 3002 が表示されている。さらに入力画面 3000 の下部には、「利用制限を設ける」または「利用制限を設けない」のいずれかを選択するためのチェックボタン 3003 とチェックボタン 3004 とが表示されている。ここでは、自分「江戸村早紀」が所有する権利として、「オンラインゲーム パナリス」6 時間分のコンテンツ利用権と、「アニメ 謎の円盤 USO」9 時間分のコンテンツ利用権とが表示されている。また、一時ユーザである友人「磯島のり子」が所有する権利として、「オンラインゲーム パナリス」3 時間分のコンテンツ利用権と、「アクションゲーム バーチャル 7 色仮面」10 回分のコンテンツ利用権とが表示されている。自分「江戸村早紀」はこれらの一覧を見て、例えば、友人「磯島のり子」の「オンラインゲーム パナリス」のコンテンツ利用権が残り少ないため、自分のコンテンツ利用権も使わせてあげたいが、自由に好きなだけ使われても困るので、「利用制限を設ける」を選択するためのチェックボタン 3003 にチェックを入れている。その後、OK ボタン 906 を押すと、さらに詳細なコンテンツの利用制限の設定を要求するコマンドが権利管理サーバ 2210 に送信される。

【0119】このコマンドを受信した権利管理サーバ 2210 では、一時利用制限管理部 2218 が、一時利用制限データベース 2214 から、あらかじめ想定された一時利用制限の候補を示す一時利用制限テンプレートを読み出して、一時利用制限の候補を列記し、その中からユーザによる選択の入力を受け付ける入力画面を作成する。図 31 は、一時利用制限の候補を列記し、その中からユーザによる選択の入力を受け付ける入力画面 3100 の一例を示す図である。図のように、入力画面 3100 には、「自分の権利を使わせない」という表示文に対応するチェックボタン 3101、「コンテンツを指定して制限する」という表示文に対応するチェックボタン 3102、「自分の権利を□時間（□回）だけ使わせる」という表示文に対応するチェックボタン 3103 および「自分の権利を期限付きで使わせる 有効期限：□□□年□□月□□日」という表示文に対応するチェックボタン 3104 が表示されている。ここでは、チェックボタン 3103 およびチェックボタン 3104 にチェックが入れており、補助情報の入力を受け付ける□の入力枠の中に、それぞれ、「3」時間（「1」回）と「2002」年「05」月「06」日とが入力されている。前記各チェックボタンには、一時利用制限テンプレート内の一時利用制限の候補の ID が対応付けられており、入力画面 3100 内の OK ボタン 906 が押されると、チェックボタンにチェックを入れることによって選択された一時利用制限の候補の ID と、それに対応する補助情報入力枠への入力結果とが権利管理サーバ 2210 に送信される。

【0120】これを受信した権利管理サーバ2210では、一時利用制限管理部2218が、一時利用制限2300内のこれらに対応する各項目に、端末2から受信した内容を記述する。この例では、入力画面3100へのチェックボタン3103とそれに対応する入力枠への入力内容から、「自分の権利」である権利情報ID403「101」と「102」との権利情報400に対して一時利用制限2300が設定される。ここでは一時利用制限2300の図示しない累積利用時間制限605の項目に「180」分が記述され、利用回数制限603の項目に「1」が記述される。また、入力画面3100へのチェックボタン3104とそれに対応する入力枠への入力内容から、「自分の権利」である権利情報ID403「101」と「102」との権利情報400に対応する一時利用制限2300の図23に示した権利有効期限2303の項目に「20020506」が記述される。

【0121】さらに、この例では選択されていないが、例えば「自分の権利を使わせない」に対応するチェックボタン3101が選択された場合には、「自分の権利」である権利情報ID403「101」と「102」との権利情報400に対応する一時利用制限2300に、累積利用時間制限605の項目に「0」分が、利用回数制限603の項目に「0」が記述される。なおこの場合、図示しない項目に、別途、コンテンツの利用を禁止するフラグが立てられたりしてもよい。また、例えば、表示文「コンテンツを指定して制限する」に対応するチェックボタン3102が選択された場合には、権利管理サーバ2210は、端末2で利用できるすべてのコンテンツが列記され、その中からコンテンツを指定するための選択入力を受け付ける新たな入力画面を生成した上、専用端末150に送信し、その応答として、当該入力画面において選択されたコンテンツに対応する権利情報ID403を受信する。権利管理サーバ2210はさらに、選択された権利情報ID403に対応する一時利用制限を設定するための入力画面を生成して専用端末150に送信し、この処理を指定されたコンテンツ毎に順次繰り返して、ユーザによって指定された権利ごとの一時利用制限を設定する。

【0122】図32は、一時利用制限が設定された端末2を使って一時ユーザ「磯島のり子」がコンテンツ「オンラインゲーム パナリス」を利用する場合の処理の流れを示す図である。一時ユーザ「磯島のり子」は、コンテンツ「オンラインゲームパナリス」を利用するために、端末2からライセンスチケット発行要求を行う。この場合、一時ユーザ「磯島のり子」は、端末2のライセンスチケット発行要求画面に図30のように一覧表示されているコンテンツの中から、「磯島のり子」が権利所有者として表示されているコンテンツ「オンラインゲーム パナリス」を選択し、さらに、画面内の認証情報入力枠に、認証用ユーザID217「KAGIKKO1」

およびパスワード218「OSHIEANA1」を入力して、当該画面内のOKボタンなどを押す。これによって、ライセンスチケット発行要求画面で選択されたコンテンツに対応する権利情報400の権利情報ID403と、認証情報610と、要求元である端末2を示す端末ID301とが権利管理サーバ2210に送信される。

【0123】これを受信した権利管理サーバ2210では、端末情報管理部2216が、通信部119において受信されたライセンスチケット発行要求に添付されている端末ID301から端末情報300に登録されているユーザのユーザID203を特定する。ユーザ情報管理部2215は、ライセンスチケット発行要求に含まれている認証情報610（認証用ユーザID217「KAGIKKO1」およびパスワード218「OSHIEANA1」）から、要求元ユーザ「磯島のり子」のユーザID203「USO086」を特定する。一時利用制限管理部2218は、ユーザ情報管理部2215によって特定されたユーザのユーザID203に一致するユーザID203が、端末情報管理部2216によって特定されたユーザID203の中にあるか否かを調べ、なければ、「ユーザ『磯島のり子』さんは登録されていないので、この端末を利用することができません。」などの通知を表示する画面を端末2に送信して当該ライセンスチケット発行要求に応答する処理を終了する。

【0124】ここでは、端末情報300に端末ID301「PAN2」の端末2に対して、ユーザID203「USO086」のユーザ「磯島のり子」が登録されているので、一時利用制限管理部2218はさらに、一時利用制限データベース2214を検索し、要求元の端末2およびユーザが一時利用制限データベース2214に登録されているか否かを調べる。一時利用制限管理部2218は、要求元のユーザが一時ユーザでなければ、要求元が一時ユーザでない旨をライセンスチケット生成部2217に通知して、ライセンスチケット発行要求に応じるよう指示する。ここではユーザ「磯島のり子」が、一時利用制限データベース2214に登録された一時ユーザであるので、一時利用制限管理部2218は、一時ユーザ「磯島のり子」のライセンスチケット発行要求が一時利用制限によって許可されているか否かを判定する。図23に示した一時利用制限2300では、端末操作制限2301の項目に、一時ユーザに対してライセンスチケット発行要求のみが許可されることが記述されているので、一時利用制限管理部2218は、ライセンスチケット生成部2217に、ライセンスチケット発行要求に応じるよう通知する。この際に、一時利用制限管理部2218は、要求元が一時ユーザである旨をライセンスチケット生成部2217に通知し、当該一時ユーザの権利情報ID403「103」の権利情報400に設定されている一時利用制限があれば、それをライセンスチケット生成部2217に通知する。

【0125】ここでは、一時ユーザ「磯島のり子」が、「磯島のり子」自身が所有する権利（権利情報ID403「103」）を使ってライセンスチケットを発行するよう要求しているため、発行されるライセンスチケットには、特に一時利用制限は設定されていない。例えば、一時ユーザ「磯島のり子」が、コンテンツ「オンラインゲーム パナリス」を「3時間」使用するためのライセンスチケットの発行を要求していたとすると、権利管理サーバ2210において、ライセンスチケット生成部2217は、コンテンツ「オンラインゲーム パナリス」のコンテンツ鍵と、コンテンツ「オンラインゲーム パナリス」の「3時間」分の利用を許可することを示した利用条件データとからなる、権利情報ID403「103」のライセンスチケットを、端末2に対して発行する。

【0126】これに対し、一時ユーザ「磯島のり子」が、図30のような一覧の中から、権利所有者が「江戸村早紀」である権利情報ID403「101」の権利情報400を選択して、コンテンツ「オンラインゲーム パナリス」を「5時間」使用するためのライセンスチケットの発行を要求したとすると、図31に示した一時利用制限設定用の入力画面300により、権利情報ID403「101」の権利情報400には、一時ユーザに対して「3時間」の利用しか許可しない一時利用制限が設定されているので、一時利用制限管理部2218はライセンスチケット生成部2217に対し、権利情報ID403「101」の権利情報400に設定されている一時利用制限（有効期間終了時刻405＝「20020506」および「累積利用時間＝180分」）を通知して、一時ユーザ用ライセンスチケットを生成するよう指示する。

【0127】一時ユーザ用ライセンスチケットは、実施の形態1のバレンタル制御システム100におけるライセンスチケット生成部117の子供用ライセンスチケットと同様に生成される。例えば、ライセンスチケット生成部2217によって、通常のコンテンツ利用条件を示す、すなわち、コンテンツ「オンラインゲーム パナリス」の「5時間」の利用を許可するライセンスチケット1と、一時利用制限（有効期間終了時刻405＝「20020506」および「累積利用時間414＝180分」）を示すライセンスチケット2とが生成され、次いで、これらを合成した、それぞれ有効期間終了時刻405の項目が「20020506」で、累積利用時間414の項目が「180」分であるライセンスチケット3が生成され、端末2に送信される。端末2において、ユーザ「磯島のり子」がこのライセンスチケット3を使って、コンテンツ「オンラインゲーム パナリス」を利用した場合、「5時間」の利用を要求したにも拘らず、あらかじめ設定された一時利用制限によって「3時間」で当該コンテンツの利用が停止されてしまうことになる。

【0128】以上のように、本実施の形態2の一時利用制限システム2200によれば、実施の形態1のバレンタル制御システム100と同様の構成を用いて、一時的に他人の端末を使用してコンテンツを利用する一時ユーザに対する一時利用制限を、場合に応じてきめ細かく設定することができるという効果がある。

【0129】なお、本実施の形態2の一時利用制限システム2200では、実施の形態1で説明したバレンタル情報600にさらに、端末操作制限2301および端末登録期限2302の項目を追加するとしたが、端末操作制限2301の項目は、バレンタル情報600にも設けられていてもよい。また、一時利用制限システム2200では、権利有効期限2303および端末登録期限2302を時刻まで指定せず、年月日で指定したが、本発明はこれに限定されず、時刻まで指定するようにしてもよい。また、権利有効期限2303および端末登録期限2302の開始年月日または開始時刻まで指定するようにしてもよいことはいうまでもない。

【0130】なお、上記実施の形態1および実施の形態2のコンテンツ利用権利データベース113において、権利情報400は、各ユーザに対応付けて格納されると説明したが、必ずしも、ユーザに対応付けられる必要はなく、各端末に対応付けて格納されるようにしてもよい。

【0131】なお、上記実施の形態においては、認証情報610（認証用ユーザID217およびパスワード218）をユーザが手入力するものとして説明したが、本発明はこれに限定されない。例えば、権利管理サーバ2210は、各ユーザに対してあらかじめ定めた認証情報610が書き込まれているICカードを当該ユーザに発行する。各ユーザは、各端末を使ってコンテンツを利用したり、何らかの要求を権利管理サーバ2210に対して送信したりする際には、必ず当該ICカードを各端末に挿入するものとし、そうすることによって当該ユーザの認証情報610がICカードから自動的に読み出されるようにしてもよい。

【0132】また、本発明は、このような利用制限制御（ライセンス管理）システムを構成するライセンス管理サーバまたは端末装置として実現したり、ライセンス管理サーバまたは端末装置による利用制限制御方法、特に、バレンタル制御方法として実現したり、その方法における特徴的なステップを汎用のコンピュータ装置に実行させるプログラムとして実現することもできる。そして、そのようなプログラムをCD-ROM等の記録媒体や通信網等を介して流通させることもできる。

【0133】

【発明の効果】本発明のライセンス管理サーバは、端末装置におけるコンテンツの利用を管理するライセンス管理サーバであって、端末装置または利用者ごとのコンテンツの利用条件を示すライセンス情報を記憶するライセ

ンス情報記憶手段と、第1端末装置または第1利用者から、第2端末装置または第2利用者によるコンテンツの利用を制限したい旨の指示と、その制限内容を示す利用制限情報とを取得し、前記利用制限情報を記憶する利用制限情報管理手段と、前記第2端末装置または前記第2利用者からコンテンツの利用を要求する旨の指示を取得すると、前記ライセンス情報記憶手段に記憶された前記要求された利用に対応する前記ライセンス情報が示す利用条件に、前記利用制限情報管理手段に記憶された前記第2端末装置または前記第2利用者に対応する前記利用制限情報が示す制限を加えた利用条件で、前記コンテンツの利用を許可する旨の情報であるライセンスチケットを生成し、前記第2端末装置または前記第2利用者に送信するチケット発行手段とを備えることを特徴とする。

【0134】以上のように本発明のライセンス管理サーバによれば、一般のサーバが親の要求に関係なく一般常識に基づいて子供のコンテンツ利用につき制限を加えたり、コンテンツメーカがあらかじめコンテンツに子供の利用制限を設定したりする場合には、その制限が一方的あるいは一様になりやすいのに対し、本発明のライセンス管理サーバは、コンテンツ配信システム内のコンテンツの利用を集中管理するサーバであり、家庭の親である第1端末装置または第1利用者から要求されたパレンタル情報を制限内容とし、前記パレンタル情報が示す制限を加えたライセンスチケットによって第2利用者である子供のコンテンツ利用を可能にするので、第1利用者は、子供である第2利用者のコンテンツの利用に際し、その子供の成長に応じた多様な利用制限を加えることができるという効果がある。また、第1利用者が、前記パレンタル情報を子供ごとに作成しておくことにより、その家庭の子供の個別の成長に応じた多様な利用制限を行うことができるという効果がある。また、本発明の他のライセンス管理サーバは、前記第1端末装置と前記第2端末装置とは、同一の端末装置であることを特徴とする。

【0135】以上のように、第1端末装置が第2端末装置と同一である場合、本発明のライセンス管理サーバによれば、前記第1端末装置（または前記第2端末装置）の本来のユーザである第1利用者が、一時的に前記第1端末装置（または前記第2端末装置）の使用を許可した第2利用者に対して、個人別に多様な利用制限を加えることができる。すなわち、前記第1利用者と前記第2利用者との関係に応じて、多様な利用制限を設定することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態に係るパレンタル制御システムの構成を示すブロック図である。

【図2】図2(a)は、図1のユーザデータベースに記憶されているユーザ情報のデータ構成の一例を示す図である。図2(b)は、本パレンタル制御システムの親ユ

ーザである「江戸川長春」氏のユーザ情報を具体例として示す図である。

【図3】図1に示した端末情報データベースに記憶されている端末情報のデータ構成の一例を示す図である。

【図4】図1に示したコンテンツ利用権利データベースにおける権利情報の格納方法を示す図である。

【図5】図5(a)は、図4に示したコンテンツ利用権利データベース内の権利情報のデータ構成の一例を示す図である。図5(b)は、ユーザID「US0817」のユーザ「江戸川子夏」が所有する権利情報ID「10000003」の権利情報を具体例として示す図である。

【図6】図1に示したパレンタル情報データベースに記憶されるパレンタル情報のデータ構成の一例を示す図である。

【図7】図7(a)は、図1に示したパレンタル情報データベース内におけるパレンタル情報の格納方法の他の例を示す図である。図7(b)は、図1に示したパレンタル情報データベース内におけるパレンタル情報の格納方法のさらに他の例を示す図である。図7(c)は、図1に示したパレンタル情報データベース内におけるパレンタル情報の格納方法のさらに他の例を示す図である。図7(d)は、図1に示したパレンタル情報データベース内におけるパレンタル情報の格納方法のさらに他の例を示す図である。

【図8】親ユーザ「江戸川長春」氏がパレンタル情報データベースに子端末を登録する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図9】子端末の液晶表示パネルなどに表示される「パレンタル端末登録」画面の一例を示す図である。

【図10】図8の処理手順に従ってすでに登録されている端末ID「PAN333」の子端末について、親ユーザ「江戸川長春」氏がパレンタル利用制限を設定する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図11】親端末の液晶表示パネルなどに表示されるパレンタル利用制限設定画面の一例を示す図である。

【図12】図11に示したパレンタル利用制限設定画面への入力に応じて親端末の液晶表示パネルに表示される第2パレンタル利用制限設定画面の一例を示す図である。

【図13】図12に示した第2パレンタル利用制限設定画面への入力に応じて親端末の液晶表示パネルに表示される第3パレンタル利用制限設定画面の一例を示す図である。

【図14】図13に示した第3パレンタル利用制限設定画面への入力に応じて親端末の液晶表示パネルに表示される第4パレンタル利用制限設定画面の一例を示す図である。

【図15】親端末において表示されるカスタマイズ利用制限設定画面の一例を示す図である。

【図16】図6に示したバレンタル情報が設定されている子端末(端末ID「PAN333」)からライセンスチケット発行要求を行った場合の権利管理サーバおよび子端末における処理手順を示すフローチャートである。

【図17】図17(a)は、ライセンスチケット生成部によって生成されるライセンスチケットのデータ構成の一例を示す図である。図17(b)は、子端末(端末ID「PAN333」)からのライセンスチケット発行要求に対して生成されるライセンスチケット1の具体例を示す図である。図17(c)は、子端末(端末ID「PAN333」)に設定されているバレンタル利用制限に基づいて生成されるライセンスチケット2の具体例を示す図である。図17(d)は、ライセンスチケット1とライセンスチケット2とを統合して生成されるライセンスチケット3の具体例を示す図である。

【図18】図18(a)は、バレンタル制御下の子端末に対するライセンスチケット発行方法の一例を示す図である。図18(b)は、バレンタル制御下の子端末に対するライセンスチケット発行方法の他の例を示す図である。図18(c)は、バレンタル制御下の子端末に対するライセンスチケット発行方法のさらに他の例を示す図である。

【図19】ライセンスチケット1とライセンスチケット2とが結合されたライセンスチケット3を受信したユーザ「江戸川子夏」の子端末がコンテンツ「アニメ 猫の惑星シリーズ(第1巻)」を利用する場合の子端末各部の処理手順を示すフローチャートである。

【図20】図8の処理手順に従ってすでに登録されている端末ID「PAN333」の子端末について、親ユーザ「江戸川長春」氏が登録を解除する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図21】子端末からのバレンタル端末登録解除要求に対して子端末に表示されるバレンタル端末登録解除画面の一例を示す図である。

【図22】本発明の第2の実施形態に係る一時利用制限システムの構成を示すブロック図である。

【図23】図22に示した一時利用制限データベースに格納される一時利用制限のデータ構成の一例を示す図である。

【図24】ユーザが一時ユーザに対して一時利用制限を設定する際の処理手順を示す図である。

【図25】初期画面で選択された一時ユーザ登録要求に対して表示される入力画面の一例を示す図である。

【図26】一時ユーザ登録要求に対して、一時ユーザを

特定するためのユーザIDの入力を要求する入力画面の一例を示す図である。

【図27】認証用ユーザIDの入力によって特定された一時ユーザを確認する確認画面の一例を示す図である。

【図28】一時ユーザの登録結果をユーザに表示し、一時ユーザ登録の登録期限の設定を受け付ける入力画面の一例を示す図である。

【図29】一時ユーザの端末操作に対する制限を設定するための入力画面の一例を示す図である。

【図30】一時ユーザによる権利の利用に対する利用制限の設定を問い合わせる入力画面の一例を示す図である。

【図31】一時利用制限の候補を列記し、その中からユーザによる選択の入力を受け付ける入力画面の一例を示す図である。

【図32】一時利用制限が設定された端末2を使って一時ユーザ「磯島のり子」がコンテンツ「オンラインゲーム バナリス」を利用する場合の処理の流れを示す図である。

【符号の説明】

100	バレンタル制御システム
110	権利管理サーバ
111	ユーザデータベース
112	端末情報データベース
113	コンテンツ利用権利データベース
114	バレンタル情報データベース
115	ユーザ情報管理部
116	端末情報管理部
117	ライセンスチケット生成部
118	バレンタル情報管理部
119	通信部
130	配信サーバ
131	コンテンツデータベース
132	配信部
140	親端末
141	通信部
142	データブラウズ部
150	子端末
151	要求部
152	通信部
153	ライセンスチケット蓄積部
154	ライセンスチケット処理部
155	コンテンツ蓄積部
156	コンテンツ再生部

【図5】

401	(a)	権利情報ヘッダサイズ	402	XXXXXX	400
		権利情報ID	403	10000003	
		有効期間の開始時刻	404	200205010900	
		有効期間の終了時刻	405	200304300900	
		移動許可フラグ	406	0	
		発行可能LT数	407	10	
		LT発行可能端末ID	408	PAN333	
		アクション情報数	409	1	
		アクション情報サイズ	411	XXXXXX	
		アクションID	412	View01	
410	アクション情報 #1	最長利用時間	413	180	400
		1回判定しきい値・ 回数カウンタ/ 累積利用時間	414	1, --- / 1800	
		プラグイン条件 #1	415	---	
		
		プラグイン条件 #n	415	---	
		
420	コンテンツ グループ 情報	コンテンツグループID	423	VANI0805「7-2」猫の惑星」シリーズ	400
		コンテンツ数	421	10	
		コンテンツID #1	422	VANI080501(「7-2」猫の惑星」第1巻)	
		
		コンテンツID #n	422	VANI080509(「7-2」猫の惑星」第10巻)	

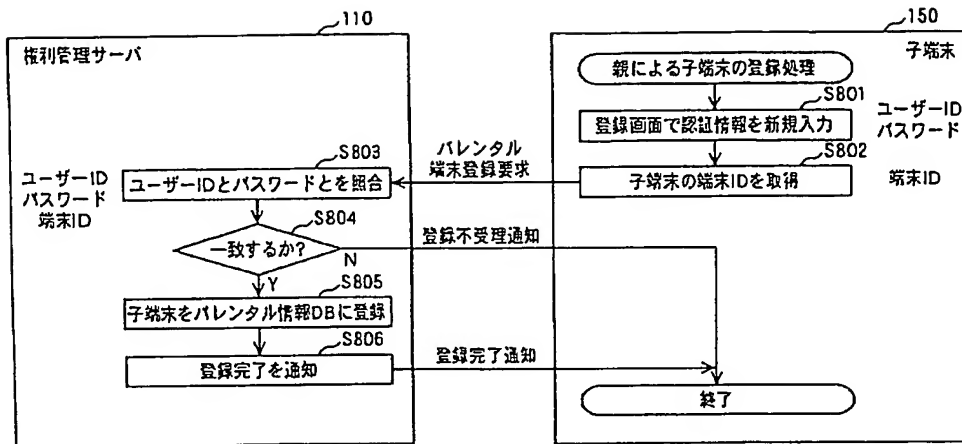
【図7】

(a)	301	403	600
	端末ID	権利情報ID	パレンタル情報
(b)	203	403	600
	ユーザID	権利情報ID	パレンタル情報
(c)	301	600	
	端末ID	パレンタル情報	
(d)	203	600	
	ユーザID	パレンタル情報	

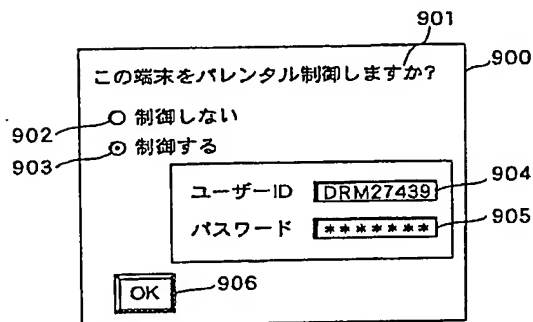
【図6】

510	301	403	パレンタル情報600				
			601	602	603	604	605
認証情報 (登録ユーザID/ パスワード)	端末ID	権利情報ID	利用期間制限 開始時刻	利用期間制限 終了時刻	利用回数制限	連続利用時間 制限	累積利用時間 制限
DRM27439/ NA*1*SHO	PAN333	10000003	200207200900	200208311900	---	60	---
DRM27439/ NA*1*SHO	PAL444	10000006	---	---	---	---	---
...

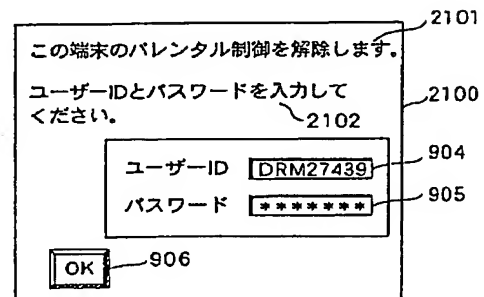
【図 8】



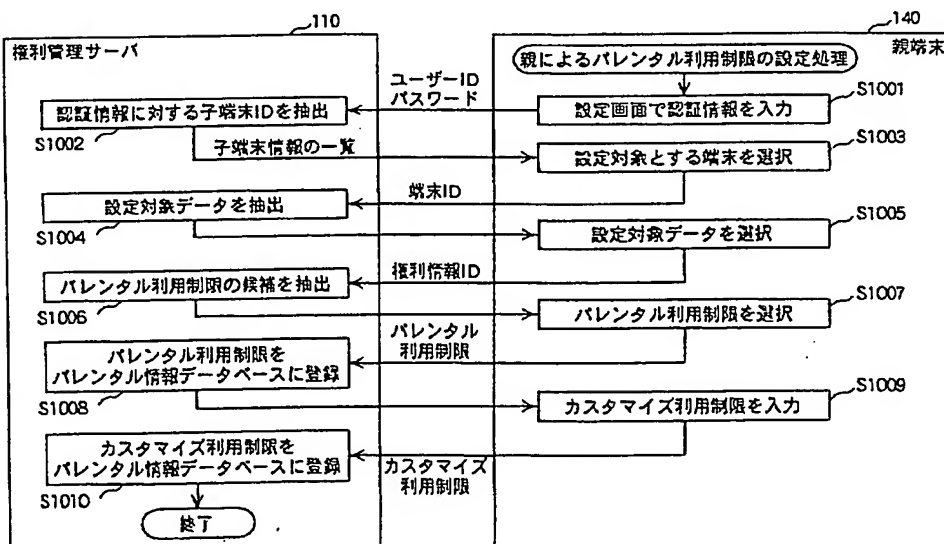
【図 9】



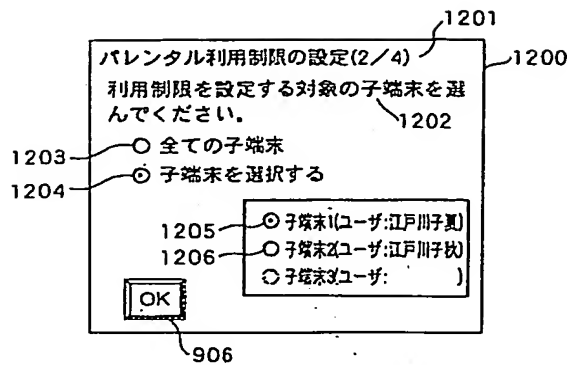
【図 21】



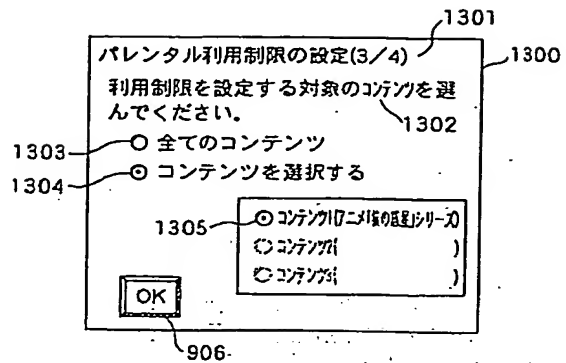
【図 10】



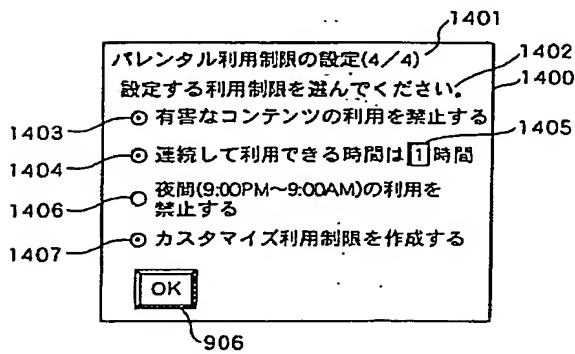
【図12】



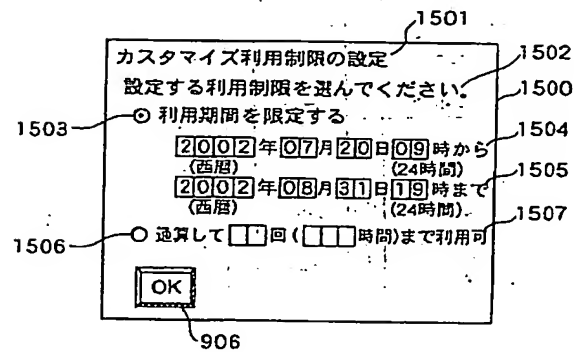
【図13】



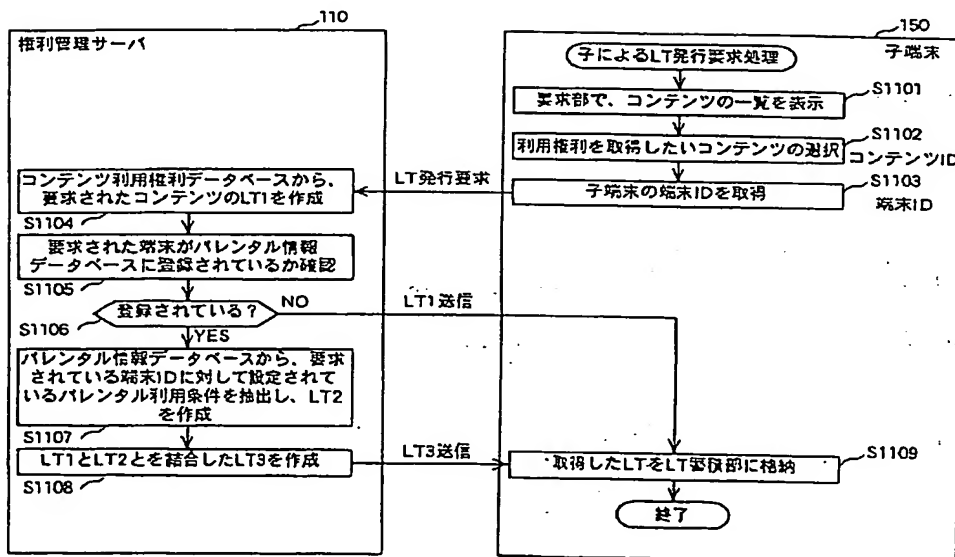
【図14】



【図15】



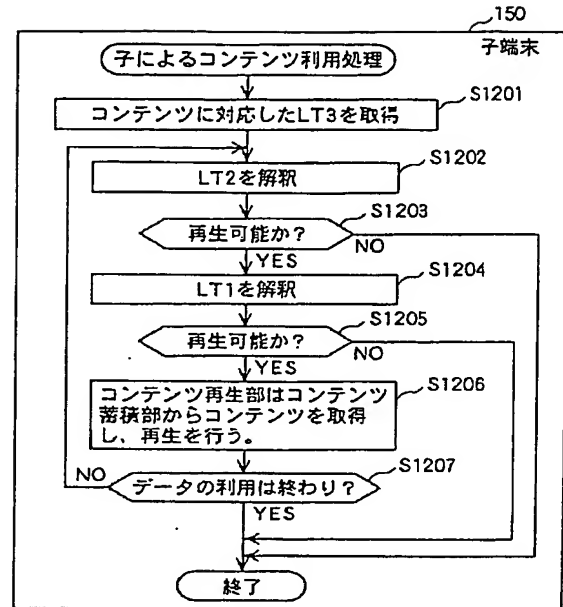
【図16】



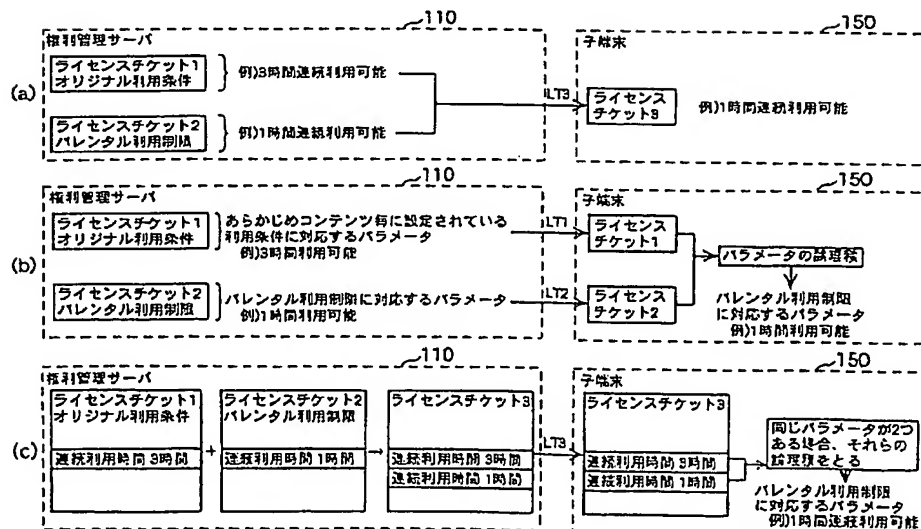
【図17】

(a)		(b)	(c)	(d)
1701	LT識別子	NDLT	NDLT	NDLT
	NetROMバージョン番号	1706 10.11	—	10.11
	LTサイズ	1707 XXXXX	XXXXXX	XXXXXX
	コンテンツID	422 VAN08050	—	VAN08050
	複製ID	403 10000003	—	10000003
	⋮	⋮	⋮	⋮
	LT有効期限開始時刻	1708 200205010900	200207200900	200207200900
	LT有効期限終了時刻	1709 200304300900	200208311900	200208311900
	LT複製フラグ	405 0	—	0
	⋮	⋮	⋮	⋮
1702	アクションブロック #1	1701 XXXXX	XXXXXX	XXXXXX
	アクションID	412 View01	—	View01
	表示時間	413 180	60	60
	1回視聴しうる 最大回数/ 総視聴回数	414 1, ---/180	—	1, ---/180
	プラグイン条件 #1	415 —	—	—
	⋮	⋮	⋮	⋮
	プラグイン条件 #n	415 —	—	—
	⋮	⋮	⋮	⋮
	アクションブロック #n	—	—	—
	⋮	⋮	⋮	⋮
1702		コンテンツID	1703	コンテンツID
1702		LTフラグ (バッチ)	1704	LTフラグ

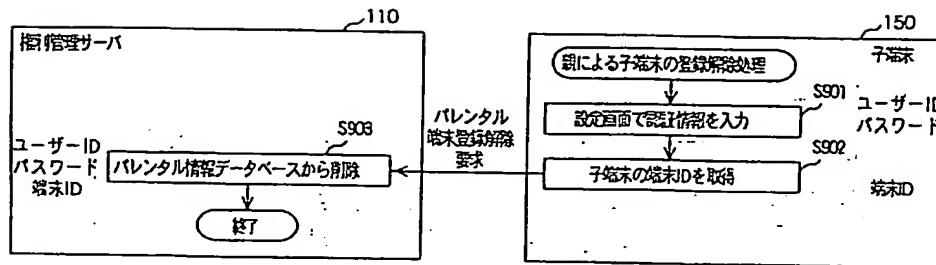
【図19】



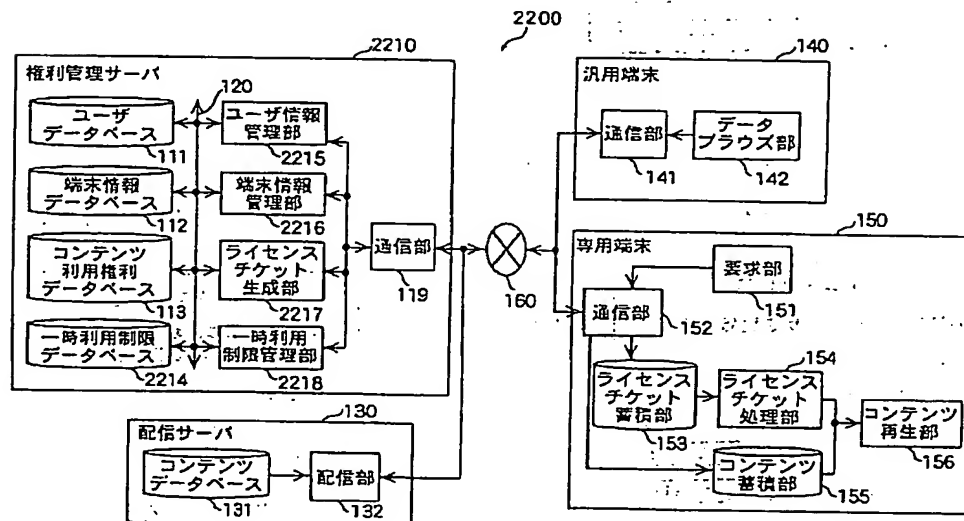
【図18】



【図 20】



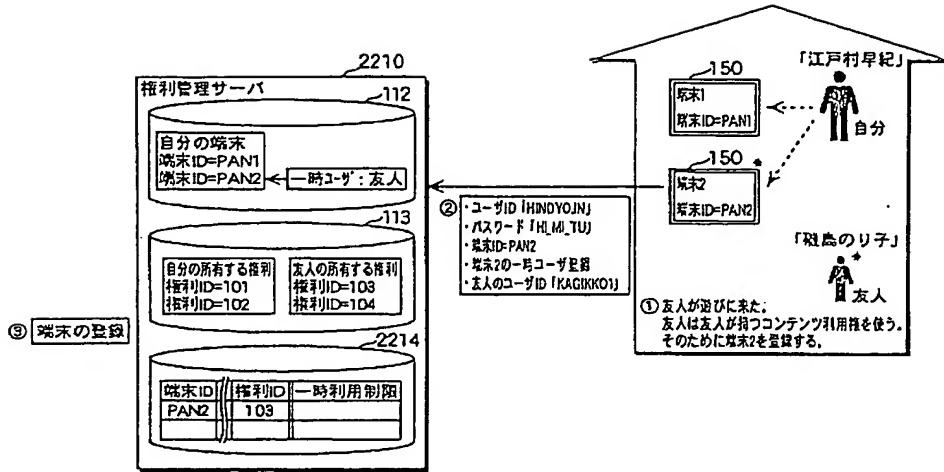
【図 22】



【図 23】

301			403			2301		2302		
端末ID	一時ユーザユーザID	権利所有者ユーザID	権利情報ID	権利有効期限		端末操作制限	端末登録期限			
PAN2	USO085	USO450	101 102	20020506		LT発行要求のみ	20020506			
PAN2	USO086	USO086	103 104	—		LT発行要求のみ	20020506			
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		⋮	⋮			

【図24】



【図25】

〈一時ユーザ登録〉

この端末に一時ユーザを登録します。

2501 ☒ 登録する

2502 ☐ 登録しない

ユーザーID

パスワード

906

【図26】

〈一時ユーザ登録〉

この端末には、現在、

ユーザ1 さんが登録されています。

一時ユーザのユーザIDを入力して下さい。

ユーザーID 904

906

【図27】

〈一時ユーザ登録〉

この端末に一時ユーザ さんを登録します。

よろしいですか?

906

【図28】

〈一時ユーザ登録〉

この端末に一時ユーザ さんを登録しました。

一時ユーザの登録には、期限を設定できます。

登録期限: 年 月 日まで

906

【図29】

〈一時ユーザ利用制限〉

一時ユーザの端末操作には
制限を設けることができます。

コンテンツの利用のみ許可する

権利の購入を許可する

権利の移動も許可する

コンテンツの利用のみ許可する

...

OK

【図30】

〈一時ユーザ利用制限〉

この端末から次のコンテンツ利用権を
使うことができます。利用制限を設け
ますか?

権利所有者	利用できるコンテンツ	利用残高
江戸村早紀	オンラインゲーム バナリス	6時間
江戸村早紀	アニメ 銀の円盤USO	9時間
磯島のリ子	オンラインゲーム バナリス	3時間
磯島のリ子	アクションゲーム パナリカ	10回

利用制限を設ける

利用制限を設けない

OK

【図31】

〈一時ユーザ利用制限〉

どのように利用制限を設定しますか?

自分の権利を使わせない

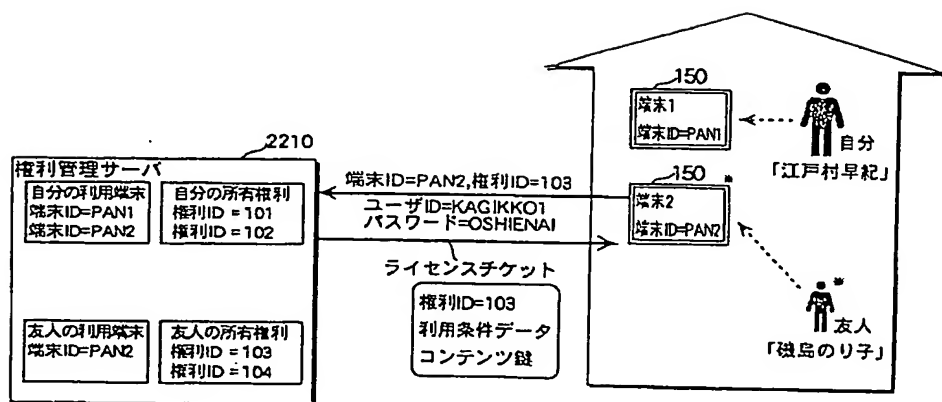
コンテンツを指定して制限する

自分の権利を3時間(1回)だけ
使わせる

自分の権利を期限付きで使わせる
有効期限 2002年05月06日

OK

【図32】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B076 FB17 FB18

5C064 BA01 BB08 BC06 BD02 BD07

BD08 BD14

THIS PAGE BLANK (USPTO)